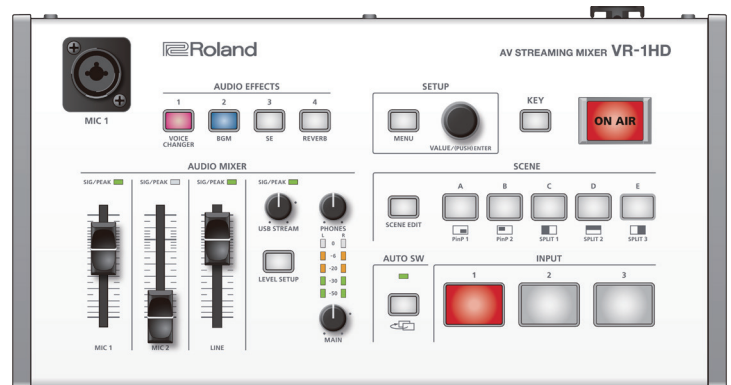


AV STREAMING MIXER VR-1HD



目次

各部の名称とはたらき	2
トップ・パネル	2
リア・パネル／サイド・パネル (機器を接続する).....	4
基本操作	6
電源を入れる／切る.....	6
メニューを操作する	6
映像の入出力設定	7
対応映像フォーマット一覧.....	7
出力フォーマットを設定する	7
入力フォーマット (EDID) を設定する	8
出力映像を調整する	8
入力映像を調整する	9
著作権保護 (HDCP) された映像を入力する.....	9
映像の操作	10
ボタン操作で映像を切り替える	10
自動的に映像を切り替える (オート・スイッチング).....	10
2つの映像を組み合わせて表示する (シーン)	12
キーで映像を合成する	15
ロゴや画像を合成する (ルミナンス・キー)	15
写体と背景を合成する (クロマ・キー)	16
読み込んだ静止画を出力する	17
メイン出力映像をフェード・イン／アウトする.....	18
音声の操作	19
マイクの入力ゲイン (感度) を調節する.....	19
音量バランスを調整する.....	19
入力音声にエフェクトをかける	20
エフェクト・プリセットを使う	21
出力音声にエフェクトをかける	22
ハウリングを軽減する (ハウリング・キャンセラー).....	22
声のキャラクターを変える (ボイス・チェンジャー).....	23
映像と音声のズレを補正する (ディレイ).....	23
特定の音声だけ消音する (ミュート).....	24
特定の音声を確認する (ソロ).....	24
映像の切り替えに音声の出力を連動する (オーディオ・フォロー)	25
音量を自動的に制御する (オート・ミキシング)	25
音楽ファイルを再生する.....	26
Web 会議システムのエコーを除去する (エコー・キャンセラー)	27
AUX バスについて	27

ライブ配信	28
ストリーミング用の映像／音声をパソコンに出力する	28
その他の機能	29
USB メモリーに本体の設定を保存する	29
USB メモリーをフォーマットする	30
パネル操作を禁止する (パネル・ロック).....	30
設定を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット).....	31
メニュー一覧	32
VIDEO INPUT メニュー	32
VIDEO OUTPUT メニュー	33
SCENE メニュー.....	34
TRANSITION メニュー	36
KEY メニュー	36
AUTO SWITCHING メニュー	37
ON AIR メニュー	37
AUDIO INPUT メニュー.....	38
AUDIO OUTPUT メニュー.....	41
AUDIO FOLLOWS VIDEO メニュー	42
AUTO MIXING メニュー.....	42
ECHO CANCELLER メニュー.....	42
AUDIO EFFECTS メニュー.....	43
USB MEMORY メニュー.....	45
SYSTEM メニュー.....	46
LEVEL SETUP メニュー.....	47
資料	48
主な仕様	48
外形寸法図	49
ブロック・ダイアグラム	51
故障かな?と思ったら	52
ショートカット一覧	53

各部の名称とはたらき

トップ・パネル

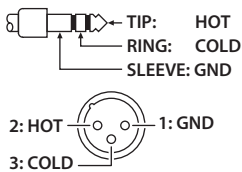
MIC 1 端子

マイクを接続します。ファンタム電源が必要なコンデンサー・マイクを接続するときは、サイド・パネルの [PHANTOM] スイッチをオンにします。

注意

- グースネック・マイクを使用する場合、操作音を拾うことがあります。
- プラグイン・パワー対応のマイクを接続しないでください。また、Roland VP-03 や JD-Xi 付属のマイクを接続しないでください。故障の原因になります。

※ MIC 1、2 端子 (XLR/TRS) のピン配置

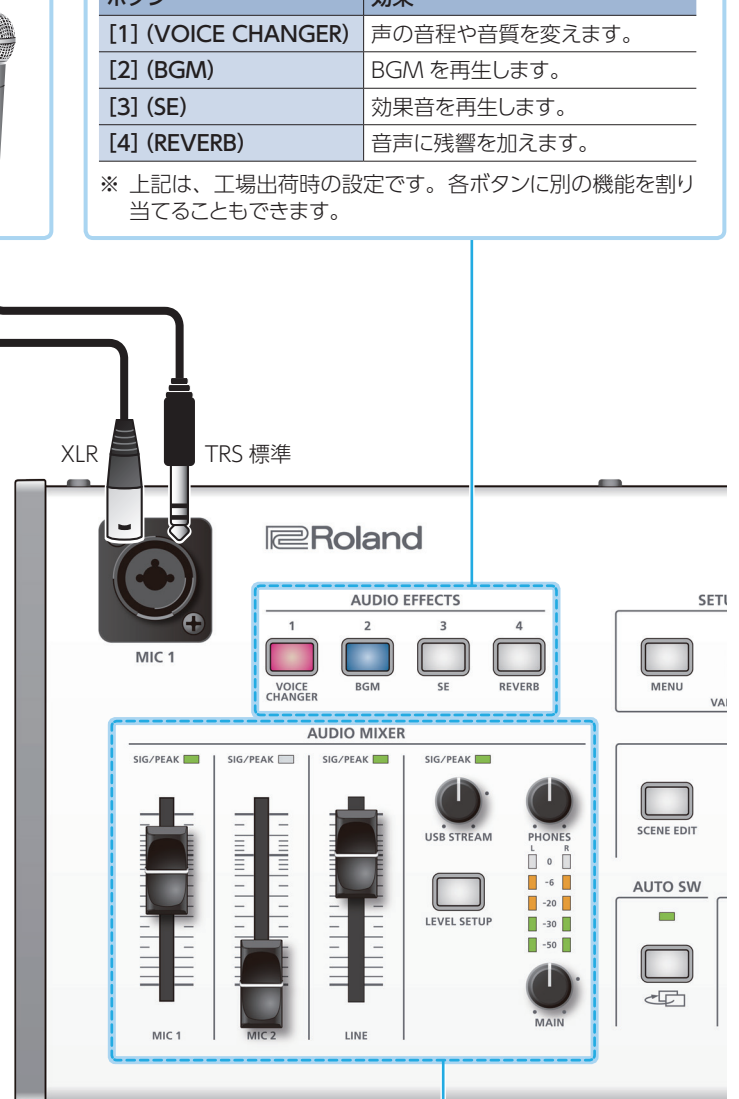


AUDIO EFFECTS [1] ~ [4] ボタン (P.23、21、26)

オーディオ・エフェクトをオン/オフします。オンのときは、ボタンが点灯します。

ボタン	効果
[1] (VOICE CHANGER)	声の音程や音質を変えます。
[2] (BGM)	BGM を再生します。
[3] (SE)	効果音を再生します。
[4] (REVERB)	音声に残響を加えます。

※ 上記は、工場出荷時の設定です。各ボタンに別の機能を割り当てることもできます。



AUDIO MIXER エリア (P.19)

SIG/PEAK インジケータ (MIC 1 / MIC 2 / LINE)

音声の入力を感知すると、緑点灯します。過大入力になると、赤点灯します。

[MIC 1] [MIC 2] [LINE] フェーダー

MIC 1 / MIC 2 / LINE 入力の音量を調節します。

SIG/PEAK インジケータ (USB STREAM)

USB 出力の音量レベルを表示します。

[USB STREAM] つまみ

USB 出力の音量を調節します。

[LEVEL SETUP] ボタン

音量/入力ゲイン/ソロ/ミュートに関するメニューを表示します。

[PHONES] つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。

レベル・メーター

メイン出力の音量レベルを表示します。

[MAIN] つまみ

メイン出力の音量を調節します。

SETUP エリア (P.6)

[MENU] ボタン

オン (点灯) にすると、MONITOR (MENU) 端子に接続したディスプレイに、メニューを表示します。

下の階層に移動しているときは、1 つ上の階層に戻します。
最上層のメニューを開いているときは、メニューを閉じます。

[VALUE] つまみ

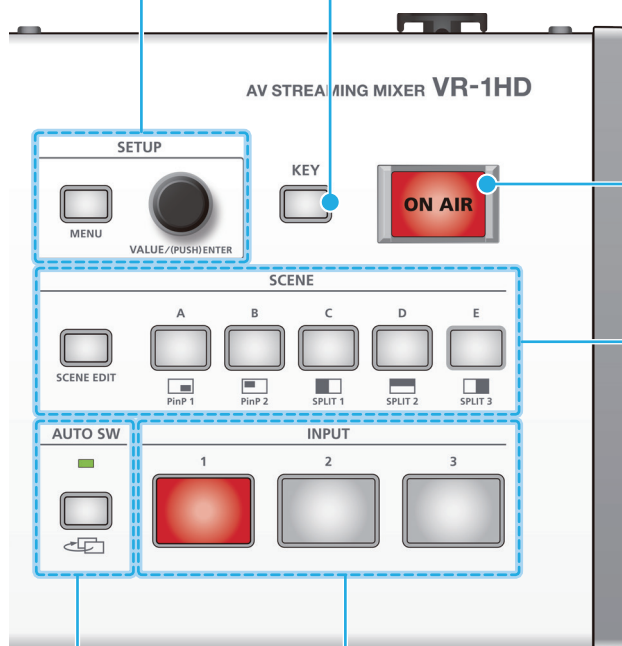
回す：メニュー項目を選んだり、設定値を変更したりします。
押す：選んだメニュー項目や変更した設定値を決定します。

[KEY] ボタン (P.15)

キー合成をオン/オフします。オン (点灯) にすると、2 つの映像を合成して出力します。

キー合成とは？

映像の一部を透明にして、背景映像に重ねて合成する方法です。



[ON AIR] ボタン (P.18)

メイン出力映像をフェード・イン/アウトします。
[ON AIR] ボタンが、フェード状態を示します。

点灯	通常の出力
点滅	フェード・イン/アウト中
消灯	フェード・アウト

※ フェード・イン/アウトの効果は、MONITOR (MENU) 端子から出力される映像には、反映されません。

SCENE エリア (P.12)

[SCENE EDIT] ボタン

シーンに関するメニューをダイレクトに表示します。

SCENE [A] ~ [E] ボタン

登録されている画面構成 (シーン) を呼び出します。選ばれたボタンは、赤点灯します。

※ INPUT [1] ~ [3] ボタンを選ぶと、シーンの選択は解除されます。

INPUT [1] ~ [3] ボタン (P.10)

VIDEO INPUT 1 ~ 3 端子に入力された映像を切り替えます。
選ばれたボタンは、赤点灯します。

※ SCENE [A] ~ [E] ボタンを選ぶと、入力映像の選択は解除されます。

※ INPUT [1] ~ [3] ボタンに、本体に保存した静止画や単色画面を割り当てすることもできます。

AUTO SW エリア (P.10)

[AUTO SW] ボタン

オート・スイッチング機能をオン/オフします。オン (点灯) にすると、自動的に INPUT 1 ~ 3 の映像やシーン A ~ E が切り替わります。

※ オート・スイッチングには、3 つの動作モードがあります。

AUTO SW インジケーター

オート・スイッチングによる映像切り替えのタイミングで緑点灯します。

※ オート・スイッチングのオン/オフに関係なく、常に動作します。

メイン出力とは？

映像合成やオーディオ・エフェクトなど、すべての処理が反映された映像/音声の出力のことです。MAIN 端子から出力されます。

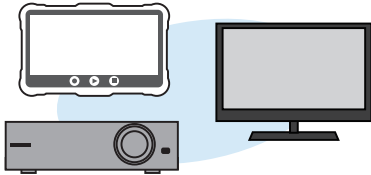
ライブ配信やプレゼンテーションなどで、視聴者が見る映像になります。

リア・パネル／サイド・パネル（機器を接続する）

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

MAIN 端子

映像／音声ミックスの結果（メイン映像）を出力します。プロジェクターやディスプレイ、録画用のビデオ・レコーダーなどを接続します。



HDMI 入力端子

MONITOR (MENU) 端子

ディスプレイを接続して、メニューを表示します。また、フェード・アウト効果がかかる前のメイン映像を出力します。



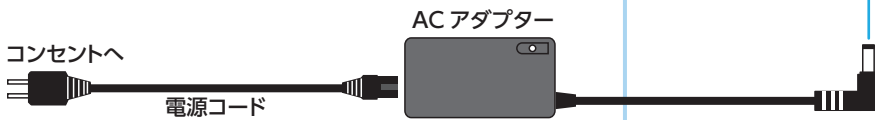
HDMI 入力端子

接地端子

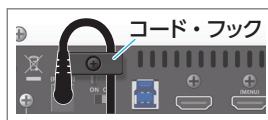
必要に応じて、外部のアースまたは大地に接地します。

DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。



※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。



[POWER] スイッチ (P.6)

電源をオン／オフします。

USB STREAM 端子 (P.28)



USB 端子

パソコンを接続します。VR-1HD から映像／音声ミックスの結果をパソコンに出力します。映像／音声のライブ配信などに使用できます。また、パソコンで再生した音声を VR-1HD に入力します。

※ HD 映像を USB 出力する場合は、パソコンの USB 3.0 端子に接続してください。

※ 延長ケーブルや USB ハブを使って接続すると、パソコンが VR-1HD を認識しない場合があります。VR-1HD とパソコンは、直結することをお勧めします。

THRU 端子



HDMI 入力端子

VIDEO INPUT 3 端子から入力された映像をスルー出力します。ディスプレイや録画用のビデオ・レコーダーなどを接続します。

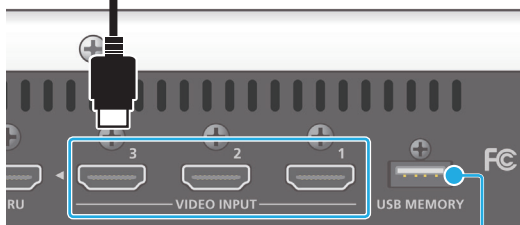
※ 放熱口（フロント/サイド・パネルなどにあるスリット）をふさがないでください。放熱口をふさいでしまうと本体内部の温度が上昇し、熱によって故障する恐れがあります。

VIDEO INPUT 1 ~ 3 端子

映像/音声を入力します。ビデオ・カメラ、BD プレーヤーなどのビデオ機器やパソコンを接続します。

※ 入力フォーマットは、自動的に識別されます。

HDMI 出力端子



USB MEMORY 端子 (P.17、26)

USB メモリーを接続します。音楽ファイル (BGM、効果音) や静止画を読み込むときに使います。



[PHANTOM] スイッチ

MIC 1 と MIC 2 端子 (XLR) のファンタム電源をオン/オフします。ファンタム電源が必要なコンデンサー・マイクを接続するときは、ファンタム電源をオンにします。

※ ファンタム電源が不要なときは、必ず [PHANTOM] スイッチをオフにしてください。

※ ファンタム電源は、MIC 1 と MIC 2 端子で共通です。

MIC 2 端子

マイクを接続します。ファンタム電源が必要なコンデンサー・マイクを接続するときは、[PHANTOM] スイッチをオンにします。

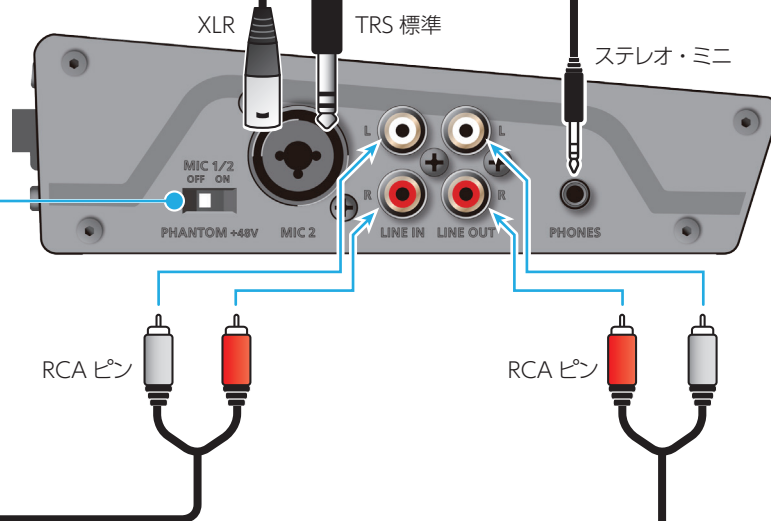
注意

- グースネック・マイクを使用する場合、操作音を拾うことがあります。
- プラグイン・パワー対応のマイクを接続しないでください。また、Roland VP-03 や JD-Xi 付属のマイクを接続しないでください。故障の原因になります。



PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。



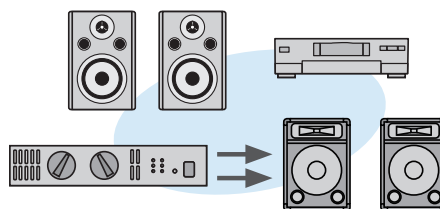
LINE IN 端子



オーディオ出力端子

音声を入力します。オーディオ・ミキサーや CD プレーヤーなどのオーディオ機器を接続します。

LINE OUT 端子



オーディオ入力端子

音声ミックスの結果を出力します。オーディオ・レコーダーやアンプ、スピーカーなどを接続します。

基本操作

電源を入れる／切る

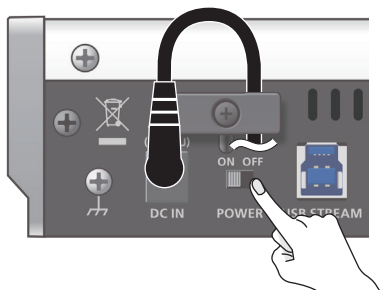
※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

メモ

VR-1HD 起動時に、前回読み込んだ静止画 (P.17) を保存した USB メモリーが接続されていると、静止画が自動的に読み込まれます。このとき、静止画のサイズや読み込み枚数によっては、起動に時間がかかる場合があります。

1. すべての機器の電源がオフになっていることを確認します。
2. VR-1HD の [POWER] スイッチをオンにします。



3. ソース機器 ⇒ 出力機器の順に電源を入れます。

電源を切る

1. 出力機器 ⇒ ソース機器の順に電源を切ります。
2. VR-1HD の [POWER] スイッチをオフにします。

オート・オフ機能について

VR-1HD には、以下の状態のまま 240 分経過すると、自動的に電源が切れる「オート・オフ機能」が搭載されています。

- VR-1HD が何も操作されない
- 音声／映像の入力がない
- MAIN / MONITOR (MENU) 端子に機器が接続されていない

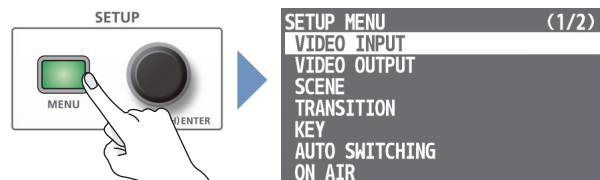
工場出荷時、オート・オフ機能は、オフに設定されています。オート・オフ機能を使うときは、[MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [AUTO POWER OFF] を [ON] に設定します。

※ オート・オフで電源が切れた場合、電源を再びオンにするときは、[POWER] スイッチを入れ直してください。

メニューを操作する

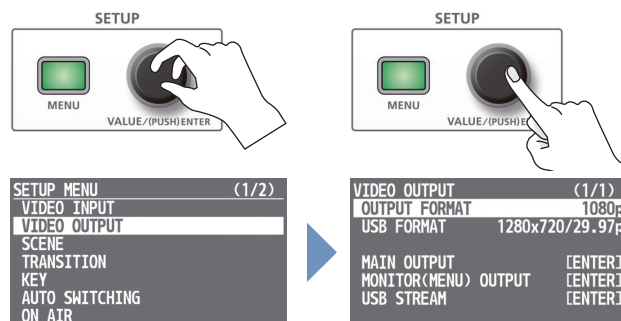
メニューを表示して、映像／音声に関する設定や本体の設定をします。メニューは、MONITOR (MENU) 端子に接続したディスプレイに表示されます。

1. [MENU] ボタンを押して、メニューを表示させます。



メニューは、機能ごとに分けられています。

2. [VALUE] つまみを回して、変更したいメニュー項目を選び、押して決定します。



3. 必要に応じて、手順 2 を繰り返します。

[MENU] ボタンを押すと、1 つ上の階層に戻ります。

4. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。

- [VALUE] つまみを押しながら回すと、設定値を大きく変更することができます。
- [VALUE] つまみを長押しすると、設定中のメニュー項目が初期値に戻ります。

5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

- メニューの設定内容は、4 秒間隔、またはメニューを閉じるタイミングで本体に保存されます。
- [LEVEL SETUP] ボタンを押すと、音量／入力ゲイン／ソロ／ミュートに関するメニューが表示されます (P.47)。
- ボタンやつまみの機能に関するメニューを素早く選べるショートカットが用意されています。詳しくは「ショートカット一覧」(P.53) をご覧ください。

- **メニューの表示先を一時的に変更したいときは**

以下の操作で VR-1HD を起動すると、MAIN 端子に接続したディスプレイや USB STREAM 出力に、メニューを表示させることができます。

[MENU] ボタンと [VALUE] つまみを押しながら、電源を入れます。操作できる状態になったら、指を離します。

※ MONITOR (MENU) 端子に接続したディスプレイには、メニューが表示されなくなります。

※ [ON AIR] ボタンの操作 (P.18) は、MONITOR (MENU) 端子の出力に対してのみ有効となります。

映像の入出力設定

対応映像フォーマット一覧

入力フォーマット

フレーム・レート	
[59.94Hz] 設定時	[50Hz] 設定時
480/59.94i	576/50i
480/59.94p	576/50p
720/59.94p	720/50p
1080/59.94i	1080/50i
1080/59.94p	1080/50p
VGA (640×480/60Hz)	VGA (640×480/60Hz)
SVGA (800×600/60Hz)	SVGA (800×600/60Hz)
XGA (1024×768/60Hz)	XGA (1024×768/60Hz)
WXGA (1280×800/60Hz)	WXGA (1280×800/60Hz)
HD (1280×720/60Hz)	HD (1280×720/60Hz)
SXGA (1280×1024/60Hz)	SXGA (1280×1024/60Hz)
FWXGA (1366×768/60Hz)	FWXGA (1366×768/60Hz)
SXGA+ (1400×1050/60Hz)	SXGA+ (1400×1050/60Hz)
UXGA (1600×1200/60Hz)	UXGA (1600×1200/60Hz)
FHD (1920×1080/60Hz)	FHD (1920×1080/60Hz)
WUXGA (1920×1200/60Hz)	WUXGA (1920×1200/60Hz)

●音声フォーマット

INPUT 1～3 端子	リニア PCM、24ビット、48kHz、ステレオ
USB STREAM 端子	リニア PCM、16ビット、48kHz、ステレオ

出力フォーマット

●MAIN / MONITOR (MENU) 端子

フレーム・レート	
[59.94Hz] 設定時	[50Hz] 設定時
720/59.94p	720/50p
1080/59.94i	1080/50i
1080/59.94p	1080/50p
XGA (1024×768/60Hz)	XGA (1024×768/75Hz)
WXGA (1280×800/60Hz)	WXGA (1280×800/75Hz)
SXGA (1280×1024/60Hz)	SXGA (1280×1024/75Hz)
FWXGA (1366×768/60Hz)	FWXGA (1366×768/75Hz)
SXGA+ (1400×1050/60Hz)	SXGA+ (1400×1050/75Hz)
UXGA (1600×1200/60Hz)	UXGA (1600×1200/60Hz)
FHD (1920×1080/60Hz)	FHD (1920×1080/60Hz)
WUXGA (1920×1200/60Hz)	WUXGA (1920×1200/60Hz)

●USB STREAM 端子

フレーム・レート	
[59.94Hz] 設定時	[50Hz] 設定時
854×480/29.97p	854×480/25p
854×480/59.94p	854×480/50p
1280×720/29.97p	1280×720/25p
1280×720/59.94p	1280×720/50p
1920×1080/29.97p	1920×1080/25p

●音声フォーマット

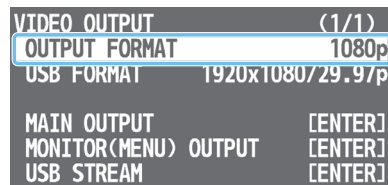
MAIN 端子	リニア PCM、24ビット、48kHz、ステレオ
MONITOR (MENU) 端子	リニア PCM、24ビット、48kHz、ステレオ
USB STREAM 端子	リニア PCM、16ビット、48kHz、ステレオ

出力フォーマットを設定する

接続する機器に合わせて、出力フォーマットを設定します。

MAIN / MONITOR (MENU) 端子

1. [MENU] ボタン ⇒ [VIDEO OUTPUT] ⇒ [OUTPUT FORMAT] を選びます。



2. [VALUE] つまみを回して出力フォーマットを選び、押し決定します。

出力フォーマットが切り替わり、確認メッセージが表示されます。



操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。

- ※ 変更したフォーマットが出力先の機器に対応していない場合、確認メッセージは表示されません。約 20 秒で元の設定に戻ります。

3. [VALUE] つまみを回して [YES] を選び、押し決定します。

[COMPLETED] と表示されます。

- ※ 10 秒以内に決定しないと、変更が反映されず元の設定に戻ります。

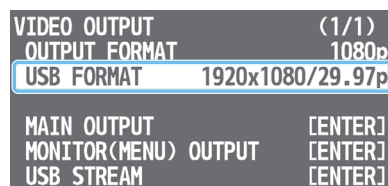
4. [VALUE] つまみを押し、メッセージを閉じます。

5. [MENU] ボタンを何回か押し、メニューを閉じます。

USB STREAM 端子

[OUTPUT FORMAT] でフォーマット変換した映像を、さらにストリーミング可能なフォーマットに変換します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [VIDEO OUTPUT] ⇒ [USB FORMAT] を選びます。



2. [VALUE] つまみを回して出力フォーマットを選び、押し決定します。

出力フォーマットが切り替わります。

3. [MENU] ボタンを何回か押し、メニューを閉じます。

フレーム・レートについて

VR-1HD の対応フレーム・レートは、[59.94Hz] と [50Hz] です。フレーム・レートは、[MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [FRAME RATE] で設定します。

USB 出力は、フレーム・レート [29.97Hz]、[25Hz] にも対応しています。USB STREAM 端子の出力フォーマットを設定するときに、解像度とフレーム・レートの組み合わせを選びます。

入力フォーマット (EDID) を設定する

工場出荷時、EDID 情報は「DEFAULT」(入力可能なすべてのフォーマットの EDID 情報が送信される設定) になっています。

特定の入力フォーマットの EDID 情報をソース機器に送りたい場合は、設定を変更します。

EDID とは？

EDID とは、VR-1HD をソース機器に接続したときに、VR-1HD からソース機器に送信されるデータです。EDID には、VR-1HD に入力できるフォーマット (解像度、カラー・スペース、色深度) や音声情報などのデータが記録されています。

ソース機器は、受信した EDID 情報を元に VR-1HD に最適な映像を出力します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [VIDEO INPUT] ⇒ [INPUT 1] ~ [INPUT 3] ⇒ [EDID] を選びます。

VIDEO INPUT 1	(1/2)
STATUS	1024x768
INPUT SOURCE	HDMI
EDID	DEFAULT
ZOOM	100.0%
SCALING TYPE	FULL
MANUAL SIZE H	0
MANUAL SIZE V	0
POSITION H	0
POSITION V	0

2. [VALUE] つまみを回して入力フォーマット (EDID) を選び、押して決定します。

入力フォーマット (EDID) が切り替わります。

3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

出力映像を調整する

VR-1HD の出力を受ける機器に合わせて、出力映像を調整します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [VIDEO OUTPUT] ⇒ [MAIN OUTPUT]、[MONITOR (MENU) OUTPUT]、または [USB STREAM] を選びます。

VIDEO OUTPUT	(1/1)
OUTPUT FORMAT	1080p
USB FORMAT	1920x1080/29.97p
MAIN OUTPUT	[ENTER]
MONITOR (MENU) OUTPUT	[ENTER]
USB STREAM	[ENTER]

詳細メニューが表示されます。

2. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

● MAIN OUTPUT、MONITOR (MENU) OUTPUT

メニュー項目	説明
COLOR SPACE	カラー・スペース (映像の色を表現するための方式) を設定します。
DVI-D/HDMI	出力信号の種類を設定します。
ZOOM (*1)	拡大/縮小率を設定します。
POSITION H (*1)	水平方向の位置を調節します。
POSITION V (*1)	垂直方向の位置を調節します。
BRIGHTNESS	明るさを調節します。
CONTRAST	コントラストを調節します。
SATURATION	彩度を調節します。
RED	赤レベルを調節します。
GREEN	緑レベルを調節します。
BLUE	青レベルを調節します。

(*1) MAIN OUTPUT のみ

● USB STREAM

メニュー項目	説明
ZOOM	拡大/縮小率を設定します。
SCALING TYPE	スケーリング・タイプを設定します。
MANUAL SIZE H	水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V	垂直方向のサイズを調節します。
POSITION H	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	垂直方向の位置を調節します。
CONNECTION RESET	映像が乱れるなど動作が安定しないときに、パソコンと VR-1HD を再接続します。

2. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。

3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

ディスプレイの画質調整に便利なテスト・パターンを出力することができます。[MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [TEST PATTERN] で、テスト・パターンの種類を選びます。

入力映像を調整する

INPUT [1] ~ [3] ボタンに割り当てられている映像の画質やスケールリングを調整します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [VIDEO INPUT] ⇒ [INPUT 1] ~ [INPUT 3] を選びます。



詳細メニューが表示されます。

2. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

メニュー項目	説明
ZOOM	拡大／縮小率を調節します。
SCALING TYPE	スケールリング・タイプを設定します。
MANUAL SIZE H	水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V	垂直方向のサイズを調節します。
POSITION H	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	垂直方向の位置を調節します。
BRIGHTNESS	明るさを調節します。
CONTRAST	コントラストを調節します。
SATURATION	彩度を調節します。
RED	赤レベルを調節します。
GREEN	緑レベルを調節します。
BLUE	青レベルを調節します。
COLOR SPACE	カラー・スペース（映像の色を表現するための方式）を設定します。「AUTO」にすると、自動的に適切なカラー・スペースを適用します。
FLICKER FILTER	「ON」にすると、ちらつきを軽減します。
KEY SW	映像切り替え時に、キー合成（P.15）を自動的にオン／オフするかどうかを設定します。

3. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。
4. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

INPUT [1] ~ [3] ボタンには、VIDEO INPUT 端子から入力される映像のほか、静止画や単色画面を割り当てることができます。

[MENU] ボタン ⇒ [VIDEO INPUT] ⇒ [INPUT 1] ~ [INPUT 3] ⇒ [INPUT SOURCE] で設定します。

設定値	説明
HDMI	VIDEO INPUT 端子から入力される映像
STILL IMAGE 1、2	本体に読み込んだ静止画（P.17）
BLACK、WHITE、GRAY、GREEN、BLUE	単色画面（黒、白、グレー、緑、青）

* 本体に読み込んだ静止画は、縮小できません。サイズ変更時に、元の静止画より小さくなる場合は、リサイズ（縮小）されずに、静止画の一部が切り出されます。

著作権保護（HDCP）された映像を入力する

BD プレーヤーなどから著作権保護（HDCP）された映像を入力するには、HDCP の入力を有効にする必要があります。

※ 著作権保護（HDCP）された映像を入力するときは、HDCP に対応したディスプレイを接続してください。

HDCP とは？

ビデオ再生機器からディスプレイなどの表示機器にデジタル信号を送る際、その経路を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防止するための著作権保護技術です。

1. [MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [HDCP] を選びます。

SYSTEM	(1/2)
HDCP	OFF
FRAME RATE	59.94Hz
TEST PATTERN	OFF
TEST TONE	OFF
PANEL LOCK	[ENTER]
LED DIMMER	7
AUTO INPUT DETECT	OFF
DELETE STILL IMAGE	1
AUTO POWER OFF	OFF

2. [VALUE] つまみを回して「ON」を選び、押して決定します。

設定値	説明
ON	著作権保護（HDCP）された映像を入力できます。また、出力される映像に HDCP を付加します。
OFF	著作権保護（HDCP）された映像は入力できません。

3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

注意

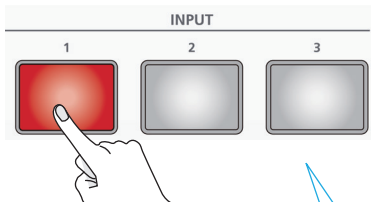
「HDCP」を「ON」にすると、USB STREAM 端子から映像／音声は出力されません。

映像の操作

ボタン操作で映像を切り替える

INPUT 1 ～ 3 の映像を手動で切り替えます。

1. INPUT [1] ～ [3] ボタンを押して、映像を選びます。



ボタン	映像の状態
赤点灯	現在選ばれている映像（出力中の映像）です。
赤点滅	映像切り替え中です。
白点灯	有効な映像が入力されています。
消灯	映像が入力されていません。

選んだボタンが赤点滅し、徐々に映像が切り替わります。
映像が完全に切り替わると、赤点滅から赤点灯に変わります。

※ シーンを選ぶと (P.12)、入力映像の選択は解除されます。

メモ

• 映像切り替え時間

映像切り替え時間は、[MENU] ボタン ⇒ 「TRANSITION」 ⇒ 「TIME」 で設定します。シーン (P.12) の切り替え時間と共通です。

• 切り替え効果

映像が切り替わるときに、ミックス効果がかかります。2つの映像が混ざり合いながら切り替わります。



以下の場合、カット（瞬時）切り替えになります。

- 映像切り替え時間を「0.0sec」にしたとき
- 映像の切り替わり中に INPUT / SCENE ボタンを押したとき

• 映像ソース

INPUT [1] ～ [3] ボタンには、VIDEO INPUT 端子から入力される映像のほかに、静止画や単色画面を割り当てることができます。

[MENU] ボタン ⇒ [VIDEO INPUT] ⇒ 「INPUT 1」 ～ 「INPUT 3」 ⇒ 「INPUT SOURCE」 で設定します。

設定値	説明
HDMI	VIDEO INPUT 端子から入力される映像
STILL IMAGE 1、2	本体に読み込んだ静止画 (P.17)
BLACK、WHITE、GRAY、GREEN、BLUE	単色画面（黒、白、グレー、緑、青）

自動的に映像を切り替える (オート・スイッチング)

INPUT 1 ～ 3 の映像やシーン (P.12) を自動的に切り替えます (オート・スイッチング機能)。映像を自動的に切り替えることで、オペレーションを省力化することができます。

オート・スイッチングの動作モード

オート・スイッチングには、状況に合わせて選べる「オート・スキャン」「ビート・シンク」「ビデオ・フォロー・オーディオ」の3つの動作モードが用意されています。

● 指定した間隔で切り替える (オート・スキャン)

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に映像を切り替えます。映像ごとに表示時間を変えたり、映像をランダムに切り替えたりすることもできます。

複数のカメラ映像を切り替えて、弾き語りをライブ配信するときなどに便利です。

※ INPUT 1 ～ 3 は、映像入力がないとスキップされます。

● 楽曲のビート (拍) に合わせて切り替える (ビート・シンク)

楽曲からビートを検出し、ビートのタイミングで映像を自動的に切り替えます。

DJ パフォーマンスや音楽演奏のライブ配信などで、楽曲に同期した映像切り替えをすることができます。

※ 楽曲によっては、ビートを正しく検出できない場合があります。

※ INPUT 1 ～ 3 は、映像入力がないとスキップされます。

● マイクの音量に応じて切り替える (ビデオ・フォロー・オーディオ)

マイクから入力される音声を検出し、音量に応じて任意の映像に自動的に切り替えます。

トーク番組や対談で、演者が話しているときは演者のクローズアップ映像、トークの合間には演者二人のワイドショット映像に切り替えるといった演出をすることができます。

動作モードを設定する

● オート・スキャン

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUTO SWITCHING] ⇒ [TYPE] を選びます。

AUTO SWITCHING	(1/2)
SW	OFF
TYPE	AUTO SCAN
SEQUENCE	RANDOM

2. [VALUE] つまみを回して [AUTO SCAN] を選び、押しで決定します。
3. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

メニュー項目	説明
SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 NORMAL: INPUT 1 ~ 3 ⇒ シーン A ~ E の順に切り替わります。 RANDOM: ランダムに切り替わります。
INPUT 1 ~ 3 DURATION	映像の表示時間を設定します。「OFF」にすると、映像切り替えの対象になりません。
SCENE A ~ E DURATION	

4. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押しで決定します。
5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

● ビート・シンク

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUTO SWITCHING] ⇒ [TYPE] を選びます。

AUTO SWITCHING	(1/2)
SW	OFF
TYPE	BEAT SYNC
SYNC SOURCE	PLAYBACK(BGM/SE)
CYCLE	4
SEQUENCE	NORMAL

2. [VALUE] つまみを回して [BEAT SYNC] を選び、押しで決定します。
3. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

メニュー項目	説明
SYNC SOURCE	映像を同期させる入力音声を設定します。
CYCLE	何拍で次の映像に切り替えるかを設定します。
SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 NORMAL: INPUT 1 ~ 3 ⇒ シーン A ~ E の順に切り替わります。 RANDOM: ランダムに切り替わります。
INPUT 1 ~ 3 SW	映像切り替えの対象 (ON) / 非対象 (OFF) を設定します。
SCENE A ~ E SW	

4. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押しで決定します。
5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

● ビデオ・フォロー・オーディオ

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUTO SWITCHING] ⇒ [TYPE] を選びます。

AUTO SWITCHING	(1/2)
SW	OFF
TYPE	VIDEO FOLLOWS AUDIO
TIME	7sec
MIC 1 SENSE	50
MIC 2 SENSE	50
MIC 1 SELECT	INPUT 1
MIC 2 SELECT	INPUT 2
MIC1+MIC2 SELECT	INPUT 3
SILENT SELECT	INPUT 3

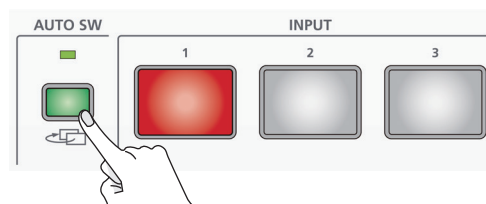
2. [VALUE] つまみを回して [VIDEO FOLLOWS AUDIO] を選び、押しで決定します。
3. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

メニュー項目	説明
TIME	マイク音声を検出し、映像/シーンが切り替わったあと、再び音声の検出を始めるまでの時間を設定します。
MIC 1 SENSE	MIC 1、2 端子から入力される音声の検出レベルを設定します。レベルが高いほど、音声を検出しやすくなります。
MIC 2 SENSE	
MIC 1 SELECT	MIC 1 で音声を検出したときに出力する映像/シーンを設定します。
MIC 2 SELECT	MIC 2 で音声を検出したときに出力する映像/シーンを設定します。
MIC 1 + MIC 2 SELECT	MIC 1 と MIC 2 の両方で音声を検出したときに出力する映像/シーンを設定します。
SILENT SELECT	MIC 1 と MIC 2 の両方で音声入力がないときに出力する映像/シーンを設定します。

4. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押しで決定します。
5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

オート・スイッチング機能をオン／オフする

1. [AUTO SW] ボタンを押して、オート・スイッチング機能をオン (点灯) にします。



※ ビート・シンクのときは、楽曲を入力または再生してください。

2. オート・スイッチング機能をオフにするときは、もう一度 [AUTO SW] ボタンを押します。

2つの映像を組み合わせて表示する（シーン）

画面構成を「シーン」に登録することで、2つの映像を組み合わせて表示することができます。あらかじめお好みの画面構成をシーンに登録しておけば、SCENE ボタンを押すだけで、素早く画面構成を切り替えられます。VR-1HD には、5つのシーンが用意されています。

画面構成のタイプ

シーンに登録できる画面構成には、以下の3種類があります。

●ピクチャーインピクチャー（PinP）

背景映像の上に子画面（小さい別の画面）の映像を重ねます。子画面のサイズや位置を自由に変更することができます。



●スプリット

画面を左右／上下2分割にして2つの映像を表示します。



●ピクチャーバイピクチャー（PbyP）

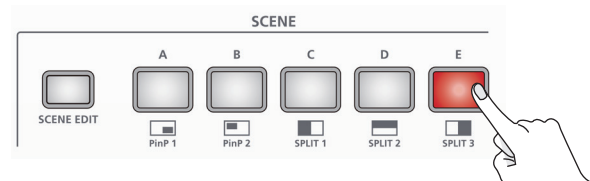
2つの画面を並べて表示します。それぞれの画面のサイズや位置を自由に変更することができます。



呼び出す

工場出荷時、SCENE [A] ～ [E] ボタンには、操作パネルに記載されている画面構成が登録されています。

1. 呼び出したい画面構成の SCENE ボタンを押します。



シーンが呼び出され、画面構成が切り替わります。選ばれたボタンは、赤点灯します。

※ INPUT 1 ～ 3 を選ぶと、シーンの選択は解除されます。

メモ

- シーンの切り替え時間は、映像切り替え時間と共通です。
[MENU] ボタン ⇒ [TRANSITION] ⇒ [TIME] の設定が適用されます。
- シーンの呼び出しに合わせて、キー合成 (P.15) を自動的にオン/オフすることができます。
[SCENE EDIT] ボタン ⇒ [SCENE A] ～ [SCENE E] ⇒ [KEY SW] で設定します。

設定値	説明
UNCHANGED	キー合成のオン/オフを自動的に変更しません。
OFF (BEFORE TR)	シーンを呼び出した瞬間に、キー合成を自動的にオフにします。
OFF (AFTER TR)	シーンの呼び出しが完了したときに、キー合成を自動的にオフにします。
ON (BEFORE TR)	シーンを呼び出した瞬間に、キー合成を自動的にオンにします。
ON (AFTER TR)	シーンの呼び出しが完了したときに、キー合成を自動的にオンにします。

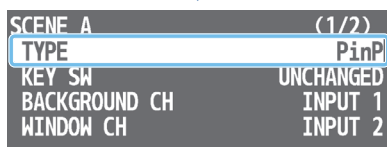
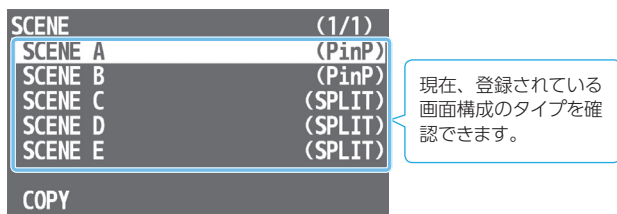
- シーンの切り替え効果を変更することができます。
[MENU] ボタン ⇒ [TRANSITION] ⇒ [SCENE TRANSITION] で設定します。

設定値	説明
BLACK FADE	黒画面をはさむフェード効果を付けます。すべての画面が同時に切り替わります。
MIX FADE	フェード効果を付けます。画面ごとに切り替わります。
MOTION	各画面が動きながら、切り替わります。

登録する

● ピクチャーインピクチャー (PinP)

1. [SCENE EDIT] ボタン ⇒ [SCENE A] ~ [SCENE E] ⇒ [TYPE] を選びます。



2. [VALUE] つまみを回して [PinP] を選び、押して決定します。
3. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

メニュー項目	説明
KEY SW	シーン呼び出し時に、キー合成 (P.15) を自動的にオン/オフするかどうかを設定します。
BACKGROUND CH	背景映像を設定します。
WINDOW CH	子画面の映像を設定します。
WINDOW POSITION H	子画面の水平方向の位置を調節します。
WINDOW POSITION V	子画面の垂直方向の位置を調節します。
WINDOW ASPECT	子画面のアスペクト比を設定します。
WINDOW SIZE	子画面のサイズを調節します。
WINDOW CROPPING H	子画面の水平方向のサイズを調節します。
WINDOW CROPPING V	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
VIEW POSITION H	子画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
VIEW POSITION V	子画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
VIEW ZOOM	子画面に表示される映像の拡大率を調節します。

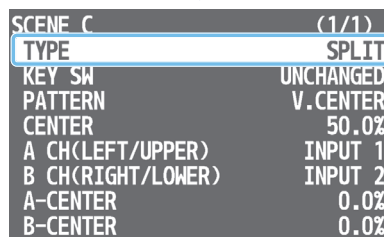
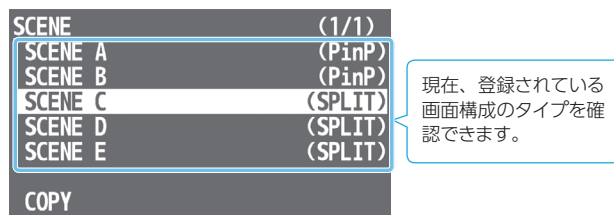
4. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。
5. [SCENE EDIT] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

本体に読み込んだ静止画 (P.17) は、縮小できません。子画面に静止画を表示した場合、子画面サイズに合わせてリサイズ (縮小) されずに、静止画の一部が切り出されます。

● スプリット

1. [SCENE EDIT] ボタン ⇒ [SCENE A] ~ [SCENE E] ⇒ [TYPE] を選びます。



2. [VALUE] つまみを回して [SPLIT] を選び、押して決定します。
3. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

メニュー項目	説明
KEY SW	シーン呼び出し時に、キー合成 (P.**) を自動的にオン/オフするかどうかを設定します。
PATTERN	スプリットの分割パターンを設定します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>V.CENTER:</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>H.CENTER:</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>V.STRETCH:</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>H.STRETCH:</p> </div> </div>
CENTER	画面を分割する位置を調節します。
A CH (LEFT/UPPER)	左または上側に表示される映像を設定します。
B CH (RIGHT/LOWER)	右または下側に表示される映像を設定します。
A-CENTER (*1)	左側/上側に表示される映像の水平/垂直方向の位置を調節します。
B-CENTER (*1)	右/下側に表示される映像の水平/垂直方向の位置を調節します。

(*1) [PATTERN] が [V.CENTER] または [H.CENTER] のとき、有効です。

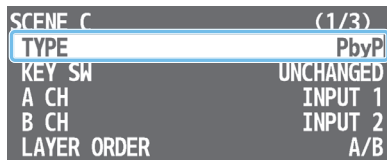
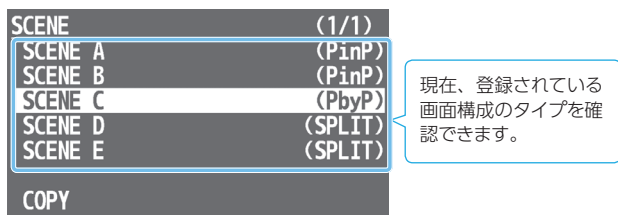
2. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。
3. [SCENE EDIT] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

本体に読み込んだ静止画 (P.17) は、縮小できません。[V.STRETCH] や [H.STRETCH] で静止画を表示した場合、静止画の解像度や画面の表示範囲によっては、ストレッチ効果が正しくかからないことがあります。

● ピクチャーバイピクチャー (PbyP)

1. [SCENE EDIT] ボタン ⇒ [SCENE A] ~ [SCENE E] ⇒ [TYPE] を選びます。



2. [VALUE] つまみを回して [PbyP] を選び、押して決定します。
3. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

メニュー項目	説明
KEY SW	シーン呼び出し時に、キー合成 (P.15) を自動的にオン/オフするかどうかを設定します。
A CH	各ウィンドウ (A 画面、B 画面) の映像を設定します。
B CH	
LAYER ORDER	A 画面と B 画面の重なり順 (前面/背面) を設定します。
A POSITION H	A 画面の水平方向の位置を調節します。
A POSITION V	A 画面の垂直方向の位置を調節します。
A ASPECT	A 画面のアスペクト比を設定します。
A SIZE	A 画面のサイズを調節します。
A CROPPING H	A 画面の水平方向のサイズを調節します。
A CROPPING V	A 画面の垂直方向のサイズを調節します。
A VIEW POSITION H	A 画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
A VIEW POSITION V	A 画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
A VIEW ZOOM	A 画面に表示される映像の拡大率を調節します。
B POSITION H	A 画面と同様に B 画面を調整します。
B POSITION V	
B ASPECT	
B SIZE	
B CROPPING H	
B CROPPING V	
B VIEW POSITION H	
B VIEW POSITION V	
A VIEW ZOOM	

4. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。
5. [SCENE EDIT] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

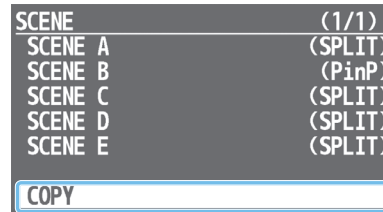
メモ

本体に読み込んだ静止画 (P.17) は、縮小できません。静止画を表示した場合、A 画面または B 画面のサイズに合わせてリサイズ (縮小) されずに、静止画の一部が切り出されます。

シーンをコピーする

シーンに登録されている設定を、別のシーンにコピーします。

1. [SCENE EDIT] ボタン ⇒ [COPY] を選びます。



SCENE COPY メニューが表示されます。

2. [VALUE] つまみで、メニュー項目を選びます。

メニュー項目	説明
SOURCE	コピー元のシーンを設定します。
DESTINATION	コピー先のシーンを設定します。

3. [VALUE] つまみを回して [SCENE A] ~ [SCENE E] のいずれかを選び、押して決定します。
4. [VALUE] つまみで、[COPY] を選びます。
確認メッセージが表示されます。
操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。
5. [VALUE] つまみを回して [YES] を選び、押して決定します。
シーンのコピーが実行されます。完了すると [COMPLETED] と表示されます。
6. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。
7. [SCENE EDIT] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

キーで映像を合成する

映像の一部を透明にして、背景映像と合成します。黒または白背景のルミナンス・キー、青または緑背景のクロマ・キーを使うことができます。

ロゴや画像を合成する（ルミナンス・キー）

明るさを基準に、黒または白部分を透明にしてロゴや画像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。シーン（P.12）を背景映像にすることもできます。



合成具合を調整する

1. 背景映像にしたい映像を出力します。
2. [MENU] ボタン ⇒ [KEY] ⇒ [SW] を選びます。

KEY	(1/2)
SW	OFF
KEY SOURCE CH	HDMI 1
KEY COLOR	BLACK
KEY LEVEL	32
KEY GAIN	4

3. [VALUE] つまみを回して [ON] を選び、押して決定します。
合成結果が出力されます。
4. [VALUE] つまみで、[KEY SOURCE CH]、[KEY COLOR]、[KEY LEVEL]、または [KEY GAIN] を選びます。

KEY	(1/2)
SW	ON
KEY SOURCE CH	HDMI 1
KEY COLOR	BLACK
KEY LEVEL	32
KEY GAIN	4

●KEY SOURCE CH

上に重ねるロゴや画像のソースを選びます。

設定値	説明
HDMI 1～3	VIDEO INPUT 1～3 端子から入力される映像
STILL IMAGE 1、2	本体に読み込んだ静止画（P.17）

●KEY COLOR

[BLACK] または [WHITE] に設定します。

設定値	説明
BLACK	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、黒い部分を透明にします。
WHITE	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、白い部分を透明にします。
GREEN 1～3	クロマ・キーで合成します。 色味を基準にして、緑色を透明にします。
BLUE 1～3	クロマ・キーで合成します。 色味を基準にして、青色を透明にします。

●KEY LEVEL

キーの抜け具合を調節します。

●KEY GAIN

キーのエッジのぼかし具合を調節します。

5. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。

合成結果を確認しながら、各メニュー項目を設定します。

6. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

キー合成する

1. [KEY] ボタンを押して、キー合成をオン（点灯）にします。



合成結果がカットで表示されます。

2. キー合成をオフにするときは、もう一度 [KEY] ボタンを押します。

カットで背景映像に戻ります。

メモ

シーンの呼び出しや映像切り替えに合わせて、キー合成を自動的にオン/オフすることができます。

シーン呼び出し時

[SCENE EDIT] ボタン ⇒ [SCENE A] ～ [SCENE E] ⇒ [KEY SW] で設定します。

設定値について詳しくは、「SCENE メニュー」（P.34）をご覧ください。

映像切り替え時

[MENU] ボタン ⇒ [VIDEO INPUT 1] ～ [VIDEO INPUT 3] ⇒ [KEY SW] で設定します。

設定値について詳しくは、「VIDEO INPUT メニュー」（P.32）をご覧ください。

ロゴや画像のサイズを変更する

キー合成時、上に重ねたロゴや画像のサイズや位置を変更することができます。以下の KEY メニューで設定します。

設定値	説明
SOURCE ZOOM	拡大／縮小率を設定します。
SOURCE SCALING	スケーリング・タイプを設定します。
MANUAL SIZE H	水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V	垂直方向のサイズを調節します。
SOURCE POSITION H	水平方向の位置を調節します。
SOURCE POSITION V	垂直方向の位置を調節します。

写体と背景を合成する (クロマ・キー)

青または緑部分を透明にして映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。ブルー・バックやグリーン・バックで撮影した被写体を合成することができます。シーン (P.12) を背景映像にすることもできます。



合成具合を調整する

1. 背景映像にしたい映像を出力します。
2. [MENU] ボタン ⇒ [KEY] ⇒ [SW] を選びます。

KEY	(1/2)
SW	OFF
KEY SOURCE CH	HDMI 1
KEY COLOR	BLACK
KEY LEVEL	32
KEY GAIN	4

3. [VALUE] つまみを回して [ON] を選び、押して決定します。
合成結果が出力されます。
4. [VALUE] つまみで、[KEY SOURCE CH]、[KEY COLOR]、[KEY LEVEL]、または [KEY GAIN] を選びます。

KEY	(1/2)
SW	ON
KEY SOURCE CH	HDMI 1
KEY COLOR	BLACK
KEY LEVEL	32
KEY GAIN	4

●KEY SOURCE CH

上に重ねる映像を選びます。

設定値	説明
HDMI 1 ~ 3	VIDEO INPUT 1 ~ 3 端子から入力される映像
STILL IMAGE 1、2	本体に読み込んだ静止画 (P.17)

●KEY COLOR

[GREEN 1 ~ 3] または [BLUE 1 ~ 3] に設定します。1 ~ 3 の中から最も適切に合成できるプリセットを選びます。

設定値	説明
BLACK	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、黒い部分を透明にします。
WHITE	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、白い部分を透明にします。
GREEN 1 ~ 3	クロマ・キーで合成します。 色味を基準にして、緑色を透明にします。
BLUE 1 ~ 3	クロマ・キーで合成します。 色味を基準にして、青色を透明にします。

●KEY LEVEL

キーの抜け具合を調節します。

●KEY GAIN

キーのエッジのぼかし具合を調節します。

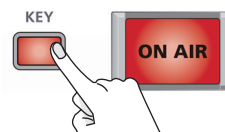
5. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。

合成結果を確認しながら、各メニュー項目を設定します。

6. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

キー合成する

1. [KEY] ボタンを押して、キー合成をオン (点灯) にします。



合成結果がカットで表示されます。

2. キー合成をオフにするときは、もう一度 [KEY] ボタンを押します。

カットで背景映像に戻ります。

メモ

シーンの呼び出しや映像切り替えに合わせて、キー合成を自動的にオン/オフすることができます。

シーン呼び出し時

[SCENE EDIT] ボタン ⇒ [SCENE A] ~ [SCENE E] ⇒ [KEY SW] で設定します。

設定値について詳しくは、「SCENE メニュー」 (P.34) をご覧ください。

映像切り替え時

[MENU] ボタン ⇒ [VIDEO INPUT 1] ~ [VIDEO INPUT 3] ⇒ [KEY SW] で設定します。

設定値について詳しくは、「VIDEO INPUT メニュー」 (P.32) をご覧ください。

上に重ねた映像のサイズを変更する

キー合成時、上に重ねた映像のサイズや位置を変更することができます。以下の KEY メニューで設定します。

設定値	説明
SOURCE ZOOM	拡大/縮小率を設定します。
SOURCE SCALING	スケーリング・タイプを設定します。
MANUAL SIZE H	水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V	垂直方向のサイズを調節します。
SOURCE POSITION H	水平方向の位置を調節します。
SOURCE POSITION V	垂直方向の位置を調節します。

読み込んだ静止画を出力する

USB メモリーから読み込んだ静止画を、映像と同じように出力することができます。また、キー合成 (P.15) のソースとして使うこともできます。

注意

- 静止画は、本体メモリーに 2 枚まで、一時的に保存されます。電源を切ると、静止画は削除されます。
- USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-1HD でフォーマットしてください (P.30)。
- USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

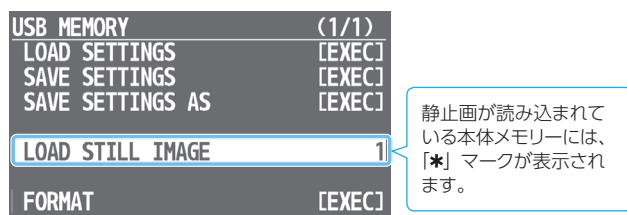
読み込み対応フォーマット

フォーマット	Windows Bitmap File (.bmp)、24ビットカラー、非圧縮
解像度	最大 1920 × 1200 ピクセル
ファイル名	半角英数 8 文字以内 ※ 必ず拡張子「.bmp」を付けてください。

静止画を読み込む

USB メモリーに保存した静止画を本体に読み込みます。

1. USB メモリーのルート・ディレクトリーに、静止画を保存します。
2. USB MEMORY 端子に、静止画を保存した USB メモリーを接続します。
3. [MENU] ボタン ⇒ [USB MEMORY] ⇒ [LOAD STILL IMAGE] を選びます。



4. [VALUE] つまみを回して、静止画の読み込み先 (本体メモリー 1 または 2) を選び、押して決定します。
USB メモリー内の静止画が一覧表示されます。
5. [VALUE] つまみを回して、読み込みたい静止画を選び、押して決定します。
確認メッセージが表示されます。
操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。
6. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、押して決定します。
静止画が本体に読み込まれます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。
7. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。
8. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

INPUT ボタンに静止画を割り当てる

INPUT ボタンに、本体に読み込んだ静止画を割り当てます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [VIDEO INPUT] ⇒ [INPUT 1] ~ [INPUT 3] ⇒ [INPUT SOURCE] を選びます。

VIDEO INPUT 1 (1/2)	
STATUS	1024x768
INPUT SOURCE	STILL IMAGE 1
EDID	DEFAULT
ZOOM	100.0%
SCALING TYPE	FULL
MANUAL SIZE H	0
MANUAL SIZE V	0
POSITION H	0
POSITION V	0

2. [VALUE] つまみを回して、「STILL IMAGE 1」または「STILL IMAGE 2」を選び、押して決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

静止画を削除する

本体メモリーに一時的に保存されている静止画を削除します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [DELETE STILL IMAGE] を選びます。

SYSTEM (1/2)	
HDCP	OFF
FRAME RATE	59.94Hz
TEST PATTERN	OFF
TEST TONE	OFF
PANEL LOCK	[CENTER]
LED DIMMER	7
AUTO INPUT DETECT	OFF
DELETE STILL IMAGE	*1
AUTO POWER OFF	OFF

静止画が読み込まれている本体メモリーには、[*] マークが表示されます。

2. [VALUE] つまみを回して、削除したい本体メモリーを選び、押して決定します。
確認メッセージが表示されます。
操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。
3. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、押して決定します。
静止画が削除されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。
4. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。
5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

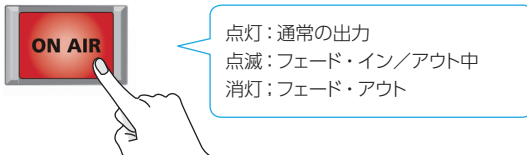
メイン出力映像をフェード・イン／アウトする

メイン出力映像から黒画面へフェード・アウト、または黒画面からメイン出力映像へフェード・インします。

映像を出力したくない場面で、黒画面にすることができます。

※ フェード・イン／アウトの効果は、MONITOR (MENU) 端子から出力される映像には、反映されません。

1. [ON AIR] ボタンを押します。



メイン出力映像から黒画面へフェード・アウトします。
完全にフェード・アウトすると、[ON AIR] ボタンが消灯します。

2. フェード・インさせるときは、もう一度 [ON AIR] ボタンを押します。

[ON AIR] ボタンが点滅し、映像の出力が始まります。完全にフェード・インすると、[ON AIR] ボタンが点灯します。

メモ

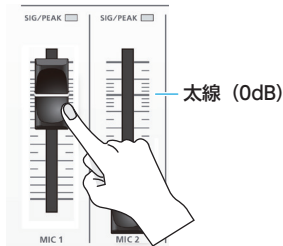
- 白画面でフェード・イン／アウトすることもできます。
[MENU] ボタン ⇒ [ON AIR] ⇒ [OFF COLOR] を [WHITE] に設定します。
- フェード・イン／アウトにかかる時間は、[MENU] ボタン ⇒ [TRANSITION] ⇒ [TIME] の設定が適用されます。
- 工場出荷時の設定では、映像と音声と同時にフェード・イン／アウトします。映像のみフェード・イン／アウトさせたい場合は、[MENU] ボタン ⇒ [ON AIR] ⇒ [AUDIO FADE] を [OFF] に設定します。

音声の操作

マイクの入力ゲイン (感度) を調節する

マイク音声に適正なレベルになるように、入力ゲインを調整します。

1. 入力ゲインを調節したい [MIC 1] または [MIC 2] フェーダーを「太線」(0dB) 付近に合わせます。



2. [MAIN] つまみを指標 (0dB) 付近に合わせます。



3. [LEVEL SETUP] ボタン ⇒ LEVEL SETUP (GAIN) (2/5) で、[MIC 1] または [MIC 2] を選びます。

LEVEL SETUP (GAIN) (2/5)▲	
MIC 1	36dB
MIC 2	36dB

4. [VALUE] つまみを反時計方向いっぱいに戻して、入力ゲインを最小 (0dB) に絞ります。

5. 実際に入力する音声を出しながら [VALUE] つまみを時計方向にゆっくり回して、入力ゲインを調節します。

最も大きな声量のあるときに、MIC 1 または MIC 2 の SIG/PEAK インジケーターが赤点灯しない範囲で、入力ゲインをできるだけ上げます。

6. [VALUE] つまみを押して、設定を決定します。

7. [LEVEL SETUP] ボタンを押して、メニューを閉じます。

メモ

• SIG/PEAK インジケーター表示

表示	説明
赤点灯	過大入力になると点灯します (0dB 以上)。
緑点灯	音声が入力されると点灯します (-50dB 以上)。

• マイクの定位 (パン) 調整

音声の左右の位置を定位(パン)といいます。2本のマイクを使って演奏会の様子を配信するときなど、定位を左右に振ることで、音に広がりを持たせることができます。

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] または [MIC 2] ⇒ [PAN] を調整します。

音量バランスを調整する

各入力音量バランスと全体の音量を調整します。

1. [MAIN] つまみを指標 (0dB) 付近に合わせます。

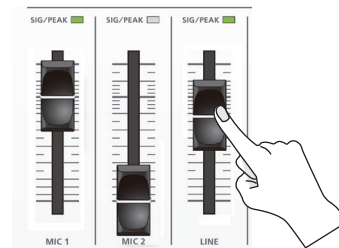


2. スピーカーやヘッドホンで音声を聴きながら、各入力音量バランスを調整します。

たとえば、司会者用のマイクなど、強調したい音声の音量は上げて、他の音声の音量は下げます。音声の入力がないときや使わない音声は、音量を最小 (-INFdB) に絞ります。

●MIC 1、MIC 2、LINE IN

[MIC 1]、[MIC 2]、[LINE] フェーダーで音量を調節します。



●VIDEO INPUT 1 ~ 3、USB、音楽ファイル (P.26)

- ① [LEVEL SETUP] ボタン ⇒ LEVEL SETUP (LEVEL) (1/5) で、入力音声を選びます。

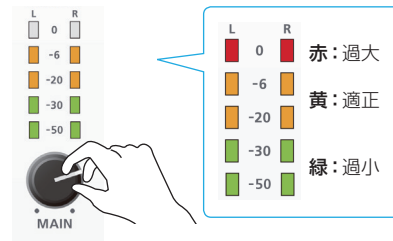
LEVEL SETUP (LEVEL) (1/5)	
HDMI 1	0.0dB
HDMI 2	0.0dB
HDMI 3	0.0dB
USB FROM PC	0.0dB
PLAYBACK (BGM/SE)	0.0dB
AUX BUS	-INFdB

- ② [VALUE] つまみで音量を調節し、押して決定します。

- ③ [LEVEL SETUP] ボタンを押して、メニューを閉じます。

3. [MAIN] つまみで、メイン出力の音量を調節します。

レベル・メーターが黄点灯する程度が適正です。



メモ

• USB 出力の音量調節

USB 出力の音量 (配信向けの音量) は、個別に調節することができます。[USB STREAM] つまみで、メイン出力の音量を微調節します。USB STREAM 端子に AUX バスが割り当てられているときは (P.27)、AUX バスの音量が調節されます。

- 音量の調節に便利なテスト・トーンを出力することができます。[MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [TEST TONE] で、出力するテスト・トーンの種類を選びます。

入力音声にエフェクトをかける

入力音声にエフェクトをかけて、音質を調整します。使えるエフェクトは下表のとおりです。

入力音声	エフェクト						
	リバーブ	ゲート	コンプレッサー	リミッター	イコライザー	ハイ・パス・フィルター	ボイス・チェンジャー
MIC 1、2	○	○	○	○	○	○	○
LINE	○	—	—	—	○	—	—
VIDEO INPUT	○	—	—	—	○	—	—
USB	○	—	—	—	○	—	—
音楽ファイル (P.26)	○	—	—	—	○	—	—

メモ

- MIC 1 と MIC 2 では、エフェクト・プリセットを使うことができます。詳しくは、「エフェクト・プリセットを使う」(P.21) をご覧ください。
- ボイス・チェンジャーの設定については、「声のキャラクターを変える (ボイス・チェンジャー)」(P.23) をご覧ください。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] ~ [PLAYBACK (BGM/SE)] ⇒ エフェクトのメニュー項目を選びます。

INPUT MIC 1	(1/2)
HEAD AMP GAIN	36dB
DIGITAL GAIN	0.0dB
LEVEL	-22.7dB
MUTE	OFF
SOLO	OFF
REVERB SEND	0.0dB
AUX SEND	0.0dB
DELAY	0.0ms(0.0frame)
PAN	CENTER

INPUT MIC 1	(2/2)▲
HOWLING CANCELLER	OFF
DYNAMICS	(OFF)
EQ	(OFF)
HPF 75Hz	OFF
LOAD PRESET	LENTERJ
PHANTOM +48V	OFF

※ エフェクトの詳細については、次項をご覧ください。

2. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押し決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

ゲート (GATE)

設定した基準レベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。

メニュー項目	説明
DYNAMICS	[VALUE] つまみを押して、DYNAMICS メニューを表示させます。
GATE	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。
GATE THRESHOLD	音声を除去するときの、基準レベルを設定します。
GATE RELEASE	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに音声が減衰しきるまでの時間を調節します。

コンプレッサー／リミッター (COMP/LMT)

●コンプレッサー

設定した基準レベルを超える音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。

●リミッター

設定した基準レベルを超える音声を圧縮します。予期せず大きな音声が入力されたときに、音割れを防止します。

※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。

メニュー項目	説明
DYNAMICS	[VALUE] つまみを押して、DYNAMICS メニューを表示させます。
COMP/LMT	コンプレッサーまたはリミッターのオン/オフを設定します。
COMP/LMT TYPE	コンプレッサーまたはリミッターを選びます。 COMP1: 「音楽向け」のコンプレッサーです。 COMP2: 「音声向け」のコンプレッサーです。「COMP1」より早く効果がかかります。 LIMITER: リミッターです。
COMP/LMT THRESHOLD	コンプレッサー／リミッターがかかる基準レベルを設定します。

イコライザー (EQ)

帯域ごとに音質を調整します。

メニュー項目	説明
EQ	[VALUE] つまみを押して、EQ メニューを表示させます。
SW	イコライザーのオン/オフを設定します。
HI	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
MID	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
MID Q	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調整します。
LO	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。

ハイ・パス・フィルター (HPF 75Hz)

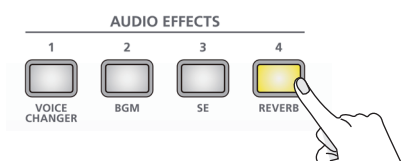
不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、75Hz です。

メニュー項目	説明
HPF 75Hz	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。

リバーブ (REVERB)

音声に残響を加えます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] ~ [PLAYBACK (BGM/SE)] ⇒ [REVERB SEND] を選びます。
2. [VALUE] つまみを回してリバーブへの音声の送り量を調節し、押して決定します。
入力音声ごとにリバーブの深さを調節します。
3. AUDIO EFFECTS [4] ボタンを押して、リバーブをオン (点灯) にします。



リバーブがかかります。

4. リバーブをオフにするときは、もう一度 AUDIO EFFECTS [4] ボタンを押します。

リバーブのかかり具合を調整する

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 4] (ASSIGN = REVERB) ⇒ [LEVEL]、[TIME]、または [TYPE] を選びます。

AUDIO EFFECTS 4 (1/1)	
ASSIGN	REVERB
SW	ON
SW MODE	LATCH
LEVEL	-20.0dB
TIME	0.5sec
TYPE	ROOM
LED COLOR	YELLOW

メニュー項目	説明
LEVEL	リバーブからの音声の戻り量 (リターン・レベル) を設定します。全体にかかるリバーブの深さを調節します。
TIME	残響音が消えるまでの長さを設定します。
TYPE	リバーブ・タイプを設定します。 ROOM: 部屋の自然な残響が得られます。 HALL: コンサート・ホールなどで演奏しているような響きが得られます。

2. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

工場出荷時、AUDIO EFFECTS [4] ボタンには、リバーブのオン/オフ機能が割り当てられています。

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 1] ~ [EFFECTS 4] ⇒ [ASSIGN] で、機能の割り当てを変更することができます。

エフェクト・プリセットを使う

VR-1HDには、マイク用のエフェクト・プリセットが用意されています。プリセットを選ぶだけで、目的に応じたエフェクトを簡単に適用することができます。

プリセットは、2種類のエフェクト (イコライザー、ハイ・パス・フィルター) を組み合わせて作られています。

※ プリセットを変更すると、各エフェクトの設定が上書きされます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] または [MIC 2] ⇒ [LOAD PRESET] を選びます。

INPUT MIC 1 (2/2)▲	
HOWLING CANCELLER	OFF
DYNAMICS	(OFF)
EQ	(OFF)
HPE 75Hz	OFF
LOAD PRESET	[CENTER]
PHANTOM +48V	OFF

LOAD PRESET	
DEFAULT	
WIND NR	
VIBRATION NR	
LIP NR	
SPEECH	
VOCAL	

プリセット・リストが表示されます。

2. [VALUE] つまみを回してエフェクト・プリセットを選び、押して決定します。

設定値	説明
DEFAULT	何も効果をかけないフラットな設定です。
WIND NR	風によるノイズを低減します。
VIBRATION NR	振動などの低音のノイズを低減します。
LIP NR	しゃべったり、歌ったりするときに、唇などから出るノイズを低減します。声の収録向けです。
SPEECH	話し声を聞き取りやすくします。
VOCAL	歌声を際立たせるようにします。

確認メッセージが表示されます。

UNSAVED SETTINGS WILL BE LOST. SURE? NO YES

操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみを回して [YES] を選び、押して決定します。
プリセットが読み込まれます。完了すると [COMPLETED] と表示されます。
4. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。
5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

出力音声にエフェクトをかける

出力音声にエフェクトをかけて、音質を調整します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO OUTPUT] ⇒ [MAIN BUS] または [AUX BUS] ⇒ エフェクトのメニュー項目を選びます。

MAIN BUS	(1/1)
LEVEL	0.0dB
MUTE	OFF
LIMITER	OFF
LIMITER THRESHOLD	-6.0dB
EQ	(OFF)

※ エフェクトの詳細については、次項をご覧ください。

2. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

リミッター (LIMITER)

ミックスされる音声の設定した基準レベルを超えないように音声を圧縮します。

※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。

メニュー項目	説明
LIMITER	リミッターのオン/オフを設定します。
LIMITER THRESHOLD	リミッターがかかる基準レベルを設定します。

イコライザー (EQ)

帯域ごとに音質を調整します。

メニュー項目	説明
EQ	[VALUE] つまみを押して、EQ メニューを表示させます。
SW	イコライザーのオン/オフを設定します。
HI	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
MID	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。
MID Q	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調整します。
LO	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。

ハウリングを軽減する (ハウリング・キャンセラー)

マイクをスピーカーに近づけたときなどに生じるハウリングを軽減します (ハウリング・キャンセラー機能)。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] または [MIC 2] ⇒ [HOWLING CANCELLER] を選びます。

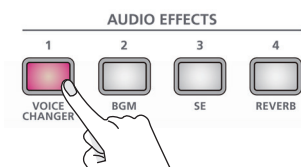
INPUT MIC 1	(2/2)▲
HOWLING CANCELLER	OFF
DYNAMICS	(OFF)
EQ	(OFF)
HPF 75Hz	OFF
LOAD PRESET	[ENTER]
PHANTOM +48V	OFF

2. [VALUE] つまみを回して「ON」を選び、押して決定します。
ハウリング・キャンセラー機能がオンになります。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

声のキャラクターを変える (ボイス・チェンジャー)

マイクから入力される声の高さや声質を変えます。「女性から男性の声」や「男性から女性の声」、「ロボット声」などに変換することができます。

1. AUDIO EFFECTS [1] ボタンを押して、ボイス・チェンジャーをオン (点灯) にします。



マイクに向かって話すと、加工された音声が出力されます。

※ 工場出荷時は、MIC 1 の音声にエフェクトがかかります。

2. ボイス・チェンジャーをオフにするときは、もう一度 AUDIO EFFECTS [1] ボタンを押します。

ボイス・チェンジャーの設定を変える

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 1] ⇒ メニュー項目を選びます。

AUDIO EFFECTS 1 (1/1)	
ASSIGN	VOICE CHANGER
SW	OFF
SW MODE	LATCH
TARGET	MIC 1
PITCH	+12
FORMANT	+4
ROBOT	OFF
MIX	100
LED COLOR	MAGENTA

メニュー項目	説明
TARGET	エフェクトをかけるマイク音声を設定します。
PITCH	声の高さ (ピッチ) を半音単位で調節します。「0」が元の声の高さです。
FORMANT	声の性質 (フォルマント) を調節します。- (マイナス) にするほど男性的な声質に、+ (プラス) にするほど女性的な声質に変化します。「0」が元の声です。
ROBOT	[ON] にすると、声の高さを一定にして、無機質なロボットのような声にします。
MIX	普通の声 (0) とエフェクトをかけた声 (100) のバランスを調節します。

2. [VALUE] つまみを回して設定値を変更し、押して決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

工場出荷時、AUDIO EFFECTS [1] ボタンには、ボイス・チェンジャーのオン/オフ機能が割り当てられています。

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 1] ⇒ [EFFECTS 4] ⇒ [ASSIGN] で、機能の割り当てを変更することができます。

映像と音声のズレを補正する (ディレイ)

映像と音声にズレが発生したときに、音声を遅らせて出力することで、映像と音声の出カタイミングを調節します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] ~ [USB FROM PC] ⇒ [DELAY] を選びます。

INPUT MIC 1	(1/2)
HEAD AMP GAIN	36dB
DIGITAL GAIN	0.0dB
LEVEL	0.0dB
MUTE	OFF
SOLO	OFF
REVERB SEND	0.0dB
AUX SEND	0.0dB
DELAY	0.0ms(0.0frame)
PAN	CENTER

2. [VALUE] つまみを回して入力音声の遅延時間を調節し、押して決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

USB STREAM 端子と AUX バス (P.27) では、出力する音声の遅延時間を調節することができます。

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO OUTPUT] ⇒ [USB STREAM] または [AUX BUS] ⇒ [DELAY] を調節します。

特定の音声だけ消音する（ミュート）

一時的に特定の入力音声や出力音声を消音します（ミュート機能）。

入力音声をミュートする

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] ~ [PLAYBACK (BGM/SE)] ⇒ [MUTE] を選びます。

INPUT MIC 1	(1/2)
HEAD AMP GAIN	36dB
DIGITAL GAIN	0.0dB
LEVEL	0.0dB
MUTE	OFF
SOLO	OFF
REVERB SEND	0.0dB
AUX SEND	0.0dB
DELAY	0.0ms(0.0frame)
PAN	CENTER

2. [VALUE] つまみを回して「ON」を選び、押して決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

出力音声をミュートする

メイン出力（メイン・バス）や AUX バス（P.27）、USB 出力の音声をミュートします。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO OUTPUT] ⇒ [MAIN BUS]、[AUX BUS]、または [USB STREAM] ⇒ [MUTE] を選びます。

MAIN BUS	(1/1)
LEVEL	0.0dB
MUTE	OFF
LIMITER	OFF
LIMITER THRESHOLD	-6.0dB
EQ	(OFF)

2. [VALUE] つまみを回して「ON」を選び、押して決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

AUDIO EFFECTS ボタンに、ミュート機能を割り当てて、オン/オフを切り替えることができます。

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 1] ~ [EFFECTS 4] ⇒ 以下のメニュー項目で機能の割り当てを変更します。

メニュー項目	説明
ASSIGN	[MUTE] に設定します。
CH	操作対象の音声を指定します。

特定の音声を確認する（ソロ）

一時的に特定の入力音声だけをヘッドホンでモニターします（ソロ機能）。

※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] ~ [PLAYBACK (BGM/SE)] ⇒ [SOLO] を選びます。

INPUT MIC 1	(1/2)
HEAD AMP GAIN	36dB
DIGITAL GAIN	0.0dB
LEVEL	0.0dB
MUTE	OFF
SOLO	OFF
REVERB SEND	0.0dB
AUX SEND	0.0dB
DELAY	0.0ms(0.0frame)
PAN	CENTER

2. [VALUE] つまみを回して「ON」を選び、押して決定します。
3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

AUDIO EFFECTS ボタンに、ソロ機能を割り当てて、オン/オフを切り替えることができます。

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 1] ~ [EFFECTS 4] ⇒ 以下のメニュー項目で機能の割り当てを変更します。

メニュー項目	説明
ASSIGN	[SOLO] に設定します。
CH	操作対象の音声を指定します。

映像の切り替えに音声の出力を連動する (オーディオ・フォロー)

映像の切り替えに連動させて、音声の出力を自動的に切り替えます (オーディオ・フォロー機能)。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO FOLLOWS VIDEO] ⇒ [HDMI 1 SW] ~ [HDMI 3 SW] を選びます。

AUDIO FOLLOWS VIDEO (1/1)	
HDMI 1 SW	ON
HDMI 2 SW	ON
HDMI 3 SW	ON
MIC 1 SW	OFF
MIC 2 SW	OFF
LINE SW	OFF
USB FROM PC SW	OFF
PLAYBACK(BGM/SE) SW	OFF

2. [VALUE] つまみを回して [ON] を選び、押して決定します。

設定値	説明
ON	HDMI 入力される映像と音声と一緒に切り替わります。
OFF	入力映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。

3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

オーディオ・フォローの対象を追加する

VIDEO INPUT 1 ~ 3 以外の入力音声をオーディオ・フォローの対象にすることができます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO FOLLOWS VIDEO] ⇒ オーディオ・フォローの対象とする入力音声を選びます。

AUDIO FOLLOWS VIDEO (1/1)	
HDMI 1 SW	ON
HDMI 2 SW	ON
HDMI 3 SW	ON
MIC 1 SW	OFF
MIC 2 SW	OFF
LINE SW	OFF
USB FROM PC SW	OFF
PLAYBACK(BGM/SE) SW	OFF

メニュー項目	説明
MIC 1 SW	MIC 1 入力
MIC 2 SW	MIC 2 入力
LINE SW	LINE 入力
USB FROM PC SW	USB 入力
PLAYBACK (BGM/SE) SW	音楽ファイル (P.26)

2. [VALUE] つまみを回して [INPUT 1] ~ [INPUT 3] のいずれかを選び、押して決定します。

設定値	説明
INPUT 1~3	各音声に対して、オーディオ・フォローを使う入力映像 (INPUT 1 ~ 3) を指定します。指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。
OFF	入力映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。

3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

音量を自動的に制御する (オート・ミキシング)

通常はオペレーターが操作する音量調整を、自動的に制御します (オート・ミキシング機能)。音量調整の操作を VR-1HD に任せることができるため、専任のオペレーターがいない場面などで活用できます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUTO MIXING] ⇒ [SW] を選びます。

AUTO MIXING (1/1)	
SW	OFF
MIC 1 SW	ON
MIC 2 SW	ON
LINE SW	OFF
HDMI 1 SW	OFF
HDMI 2 SW	OFF
HDMI 3 SW	OFF
USB FROM PC SW	OFF

2. [VALUE] つまみを回して [ON] を選び、押して決定します。

オート・ミキシング機能がオンになります。

3. [VALUE] つまみで、設定の対象とする音声を選びます。

メニュー項目	説明
MIC 1 SW	MIC 1 入力
MIC 2 SW	MIC 2 入力
LINE SW	LINE 入力
HDMI 1 SW	VIDEO INPUT 1 入力
HDMI 2 SW	VIDEO INPUT 2 入力
HDMI 3 SW	VIDEO INPUT 3 入力
USB FROM PC SW	USB 入力

4. [VALUE] つまみを回して、オート・ミキシングの対象 (ON) / 非対象 (OFF) を設定し、押して決定します。

BGM などオート・ミキシングが不要な音声では、[OFF] にします。

5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

音楽ファイルを再生する

内蔵の音楽ファイルや USB メモリーに保存された音楽ファイル (.wav) を再生します。ジングル/拍手などの効果音や BGM を再生して、配信や番組を楽しく演出することができます。

注意

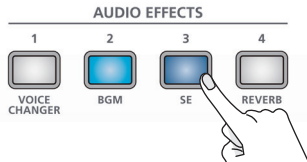
- USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-1HD でフォーマットしてください (P.30)。
- USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。

再生できる音楽ファイル

形式 (拡張子)	WAV (.wav)
サンプル・レート	44.1、48kHz
ビット数	16 ビット
チャンネル数	ステレオ、モノ
ファイル・サイズ	2GB 以内
ファイル名	半角英数 8 文字以内 ※ 必ず拡張子「.wav」を付けてください。

再生する

1. AUDIO EFFECTS [2] または [3] ボタンを押します。



ボタンが点灯し、音楽ファイルが再生されます。

※ 工場出荷時は、内蔵の音楽ファイルが再生されます。

[2] ボタン	BriskAfternoon : BGM のサンプル素材
[3] ボタン	Applause : 効果音 (拍手) のサンプル素材

2. 音楽ファイルを停止するときは、もう一度 AUDIO EFFECTS [2] または [3] ボタンを押します。

ループ再生をオフにしている場合、音楽ファイルの最後まで再生すると、自動的に停止します。

メモ

- 10ms (ミリ秒) 以内の音楽ファイルは、正しく鳴らせないことがあります。
- VR-1HD は、接続した USB メモリー内の音楽ファイルを直接再生します。USB メモリー内の音楽ファイルを選んでいても、USB メモリーが接続されていないと再生できません。
- 工場出荷時、AUDIO EFFECTS [2] [3] ボタンには、音楽ファイルの再生/停止機能「PLAYBACK (BGM/SE)」が割り当てられています。
[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 1] ~ [EFFECTS 4] ⇒ [ASSIGN] で、機能の割り当てを変更することができます。

USB メモリーの音楽ファイルを選ぶ

USB メモリーに保存した音楽ファイルを再生することができます。

1. USB メモリーのルート・ディレクトリーに、音楽ファイルを保存します。
2. USB MEMORY 端子に、音楽ファイルを保存した USB メモリーを接続します。
3. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 2] または [EFFECTS 3] ⇒ [AUDIO ASSIGN] を選びます。

AUDIO EFFECTS 2	(1/1)
ASSIGN	PLAYBACK (BGM/SE)
SW	ON
SW MODE	LATCH
AUDIO ASSIGN	BriskAfternoon
LEVEL	0.0dB
LOOP	ON
FADE IN	OFF
FADE OUT	3.0sec
LED COLOR	CYAN

AUDIO ASSIGN 2	
BriskAfternoon	
Applause	
USB MEMORY	[ENTER]

素材リストが表示されます。「BriskAfternoon」と「Applause」は、内蔵の音楽ファイルです。

4. [VALUE] つまみで「USB MEMORY」を選びます。
USB メモリー内の音楽ファイルが一覧表示されます。
5. [VALUE] つまみを回して再生したい音楽ファイルを選び、押し決定します。
確認メッセージが表示されます。
操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。
6. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、押し決定します。
「COMPLETED」と表示されます。
7. [VALUE] つまみを押し、メッセージを閉じます。
8. [MENU] ボタンを何回か押し、メニューを閉じます。

再生方法を設定する

音楽ファイルをループ再生したり、フェード・イン/アウトしたりすることができます。

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO EFFECTS] ⇒ [EFFECTS 1] ~ [EFFECTS 4] を選び、以下のメニュー項目を設定します。

● ASSGIN = PLAYBACK (BGM/SE) のとき

メニュー項目	説明
LEVEL	音楽ファイルの再生音量を調節します。
LOOP	ループ再生のオン/オフを設定します。
FADE IN	音楽ファイルのフェード・イン時間を設定します。
FADE OUT	音楽ファイルのフェード・アウト時間を設定します。

Web 会議システムのエコーを除去する (エコー・キャンセラー)

Web 会議システムのスピーカーとマイクを利用した通話では、スピーカーから聞こえる相手の声をマイクが拾ってしまうことで、再び相手の声が送り返されて、エコーが発生します。

エコー・キャンセラー機能を使うと、VR-1HD に接続したマイクが拾った音声からエコー成分を除去して、自分の声だけを相手に送ることができます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [ECHO CANCELLER] ⇒ [MIC 1 SW] または [MIC 2 SW] を選びます。

ECHO CANCELLER (1/1)	
MIC 1 SW	OFF
MIC 2 SW	OFF
MIC 1 DEPTH	5
MIC 2 DEPTH	5

2. [VALUE] つまみを回して [ON] を選び、押して決定します。

エコー・キャンセラー機能がオンになります。

3. [VALUE] つまみで、[MIC 1 DEPTH] または [MIC 2 DEPTH] を選びます。

4. [VALUE] つまみを回してエコー・キャンセラーの効き具合 (1 ~ 10) を調節し、押して決定します。

最もエコーが軽減される値に設定します。

5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

- エコー・キャンセラー機能は、約 20㎡の部屋に対応しています。
- 自分の声が回り込んで聞こえてくるときは、相手側でエコー・キャンセラーの設定をしてもらう必要があります。

AUX バスについて

入力音声をミックスして送り出す先を「バス」と呼びます。VR-1HD には、「メイン・バス」と「AUX バス」の 2 種類のバスがあります。MAIN 端子を除き、出力端子ごとに任意のバスを割り当てることができます。

●メイン・バス

すべての入力音声をミックスして出力します。メイン出力と同一の音声です。

●AUX バス

AUX バスに送られた入力音声だけをミックスして出力します。メイン出力とは異なる音声を出力することができます。

たとえば、ライブ会場では、すべての入力音声をミックスした音 (メイン・バス) を出力し、録音やストリーミング配信には、ある特定の入力音声だけ (AUX バス) を出力するといった使いかたができます。

AUX バスを割り当てる

1. [MENU] ボタン ⇒ [AUDIO OUTPUT] ⇒ [BUS SELECT] ⇒ 出力端子を選びます。

BUS SELECT (1/1)	
MONITOR(MENU)	MAIN
USB STREAM	MAIN
LINE OUT	MAIN
PHONES	MAIN

2. [VALUE] つまみを回して [AUX] を選び、押して決定します。

3. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

AUX バスへ音声を送る

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO INPUT] ⇒ [MIC 1] ~ [PLAYBACK (BGM/SE)] ⇒ [AUX SEND] で AUX バスへの送り量を調節します。

AUX バスの音声を調整する

[MENU] ボタン ⇒ [AUDIO OUTPUT] ⇒ [AUX BUS] ⇒ 以下のメニュー項目で AUX バスの音声を調整します。

メニュー項目	説明
LEVEL	音量の調節
MUTE	ミュートのオン/オフ (P.24)
LIMITER	リミッター (P.22)
LIMITER THRESHOLD	
DELAY	ディレイ (P.23)
EQ	イコライザー (P.22)

ストリーミング用の映像／音声をパソコンに出力する

パソコンと接続して、VR-1HD でミックスした映像／音声を出力します。また、パソコンで再生した音声を入力することもできます。インターネットに接続されたパソコンと配信用のソフトウェアをお使いいただくことで、インターネット・ライブ配信が可能になります。

※ VR-1HD からの映像／音声をパソコンで正しく視聴するには、USB ビデオ・クラスと USB オーディオ・クラスに対応したソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。

※ 最新の動作条件については、ローランド・ホームページ (<https://proav.roland.com/jp/>) をご覧ください。

パソコンに映像／音声を出力する

1. VR-1HD の USB STREAM 端子とパソコンの USB 3.0 端子を USB 3.0 ケーブルで接続します。

2. VR-1HD の電源を入れます。

3. パソコンを起動します。

パソコンとの通信が確立すると、VR-1HD は、パソコンから USB ビデオ・デバイス／USB オーディオ・デバイスとして認識されます。

※ VR-1HD を初めてパソコンに接続したとき、自動的に OS 標準のドライバがインストールされます。

4. VR-1HD を操作し、パソコンに出力する映像／音声を準備します。

5. パソコンで VR-1HD からの入力を確認します。

USB ビデオ・クラス／オーディオ・クラスに対応したソフトウェアを起動し、VR-1HD からの映像／音声入力を確認します。

メモ

映像が乱れるなど動作が安定しないときは

[MENU] ボタン ⇒ [VIDEO OUTPUT] ⇒ [USB STREAM] ⇒ [CONNECTION RESET] を実行して、パソコンと VR-1HD を再接続してみてください。

ループバック機能を使う

パソコンからの音声を USB 経由で VR-1HD に入力し、他の音声とミックスして、再びパソコンに戻すことができます (ループバック機能)。パソコンで再生した音楽にナレーションを付けてライブ配信したり、パソコンのソフトウェアで録音したりすることができます。

パソコンで録画する

専用ソフトウェア [Video Capture for VR] を使って、VR-1HD から USB 出力された映像／音声をパソコンで録画することができます。

詳しい操作方法については、[Video Capture for VR] に添付の取扱説明書をご覧ください。



[Video Capture for VR] は、ローランド・ホームページからダウンロードできます。

<https://proav.roland.com/jp/>

その他の機能

USB メモリーに本体の設定を保存する

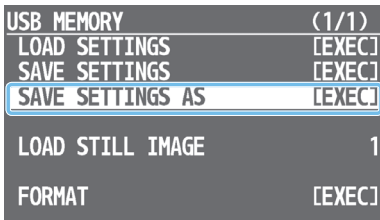
USB MEMORY 端子に接続した USB メモリーに、本体の設定を 1 つのファイル (.VR1) として保存することができます。保存した設定ファイルは、必要なときに USB メモリーから本体に呼び出して使うことができます。

注意

- USB メモリーを初めて使うときは、必ず VR-1HD でフォーマットしてください (P.30)。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
- USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。

新規保存する

1. [MENU] ボタン ⇒ 「USB MEMORY」 ⇒ 「SAVE SETTINGS AS」を選びます。



「SYS + 4 桁の連番.VR1」がファイル名となります。

確認メッセージが表示されます。
操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。

2. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、押して決定します。

現在の設定が、ファイルとして USB メモリーに保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。



3. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。
4. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

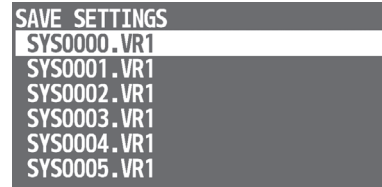
ファイルに保存されない内容

- SYSTEM メニューの「TEST PATTERN」、 「TEST TONE」 設定。常に「OFF」で起動します。
- 本体に読み込んだ静止画。静止画のファイル名のみ保存されます。
- [ON AIR] ボタンの状態。常に点灯した状態で起動します。
- [PLAYBACK (BGM/SE)] を割り当てた AUDIO EFFECTS ボタンの状態。常にオフの状態での起動します。
- 音量つまみとフェーダーの位置。

上書き保存する

1. [MENU] ボタン ⇒ 「USB MEMORY」 ⇒ 「SAVE SETTINGS」を選びます。

USB メモリー内の設定ファイルが一覧表示されます。



2. [VALUE] つまみを回して上書きしたい設定ファイルを選び、押して決定します。

確認メッセージが表示されます。
操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、押して決定します。

設定ファイルが上書き保存されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

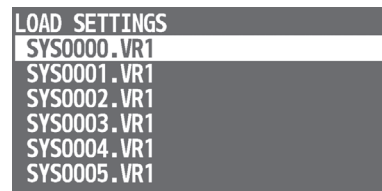
4. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。
5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

呼び出す

USB メモリーに保存されている本体の設定を呼び出します。設定を呼び出すと、現在の設定は上書きされます。

1. [MENU] ボタン ⇒ 「USB MEMORY」 ⇒ 「LOAD SETTINGS」を選びます。

USB メモリー内の設定ファイルが一覧表示されます。



2. [VALUE] つまみを回して、呼び出したい設定ファイルを選び、押して決定します。

確認メッセージが表示されます。
操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、押して決定します。

設定が呼び出されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

4. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。
5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

USB メモリーをフォーマットする

USB メモリーを初めて使うときは、VR-1HD であらかじめフォーマットしておく必要があります。

注意

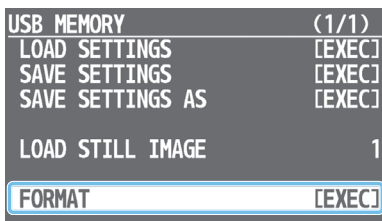
- VR-1HD でフォーマットしていない USB メモリーは、認識されません。
- 「PROCESSING...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
- フォーマットすると、USB メモリーに保存されているデータはすべて消去されます。必要なデータがある場合は、あらかじめパソコンなどにバックアップしてから、フォーマットしてください。

1. USB MEMORY 端子に USB メモリーを接続します。



※ USB メモリーは、挿入方向や表裏に注意して、確実に奥まで差し込んでください。また、無理な挿入はしないでください。

2. [MENU] ボタン ⇒ [USB MEMORY] ⇒ [FORMAT] を選びます。



確認メッセージが表示されます。
操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、押して決定します。

フォーマットが実行されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。



4. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。

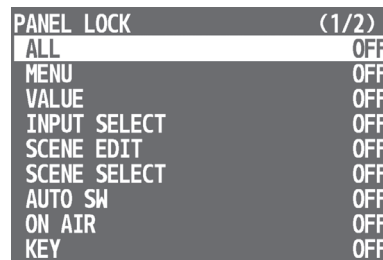
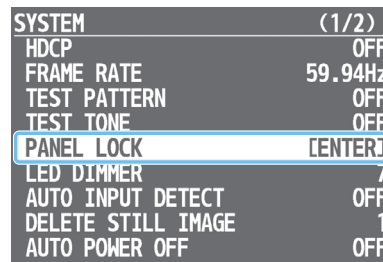
5. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

パネル操作を禁止する (パネル・ロック)

操作パネルのボタンやつまみの操作を禁止して、誤操作を防ぐことができます (パネル・ロック機能)。

パネル・ロックの対象を選ぶ

1. [MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [PANEL LOCK] を選びます。



PANEL LOCK メニューが表示されます。

2. [VALUE] つまみで、設定の対象 (ボタンやつまみ) を選びます。

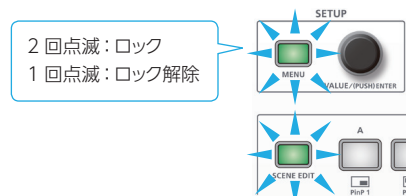
「ALL」を選ぶと、すべてのボタンとつまみを一括で設定できます。

3. [VALUE] つまみを回してパネル・ロックの対象 (ON) / 非対象 (OFF) を設定し、押して決定します。

4. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

操作パネルをロック / ロック解除する

1. [MENU] ボタンと [SCENE EDIT] ボタンを同時に 3 秒以上長押しします。



[MENU] ボタンと [SCENE EDIT] ボタンが 2 回点滅し、操作パネルがロックされます。

2. ロックを解除するときは、もう一度 [MENU] ボタンと [SCENE EDIT] ボタンを同時に 3 秒以上長押しします。

[MENU] ボタンと [SCENE EDIT] ボタンが 1 回点滅し、操作パネルのロックが解除されます。

設定を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)

VR-1HD で設定した内容を工場出荷時の状態に戻します。手順どおりに操作をしても、取扱説明書に記載されている内容と違う動作をするときは、ファクトリー・リセットを実行してみてください。

注意

ファクトリー・リセットを実行すると、それまでに設定した内容や本体に読み込んだ静止画 (P.17) は、すべて失われます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [SYSTEM] ⇒ [FACTORY RESET] を選びます。



確認メッセージが表示されます。

操作を中止したいときは、[MENU] ボタンを押します。

2. [VALUE] つまみを回して [YES] を選び、押して決定します。

ファクトリー・リセットが実行されます。完了すると [COMPLETED] と表示されます。



3. [VALUE] つまみを押して、メッセージを閉じます。
4. [MENU] ボタンを何回か押して、メニューを閉じます。

メモ

AUDIO EFFECTS [1] ボタンを押しながら電源を入ると、起動時にファクトリー・リセットを実行することができます。

メニュー一覧

[MENU] ボタンを押すと、MONITOR (MENU) 端子に接続されたディスプレイにメニューが表示されます。



メモ

- [VALUE] つまみを押しながら回すと、設定値を大きく変更することができます。
- [VALUE] つまみを長押しすると、設定中のメニュー項目が初期値に戻ります。
- [LEVEL SETUP] ボタンを押すと、音量/入力ゲイン/ソロ/ミュートに関するメニューが表示されます (P.47)。
- ボタンやつまみの機能に関するメニューを素早く選べるショートカットが用意されています。
詳しくは「ショートカット一覧」(P.53) をご覧ください。

VIDEO INPUT メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明	
INPUT 1 ~ 3	INPUT [1] ~ [3]	ボタンに割り当てた映像を調整します。	
STATUS	—	映像ソースのフォーマットを表示します。映像が入力されていない場合は、「NO SIGNAL」と表示します。また、本体に読み込んだ静止画がない場合は、「NO IMAGE」と表示します。	
INPUT SOURCE	INPUT [1] ~ [3]	ボタンに割り当てる映像ソースを設定します。	
	HDMI	VIDEO INPUT 端子から入力される映像	
	STILL IMAGE 1、2	本体に読み込んだ静止画	
	BLACK、WHITE、GRAY、GREEN、BLUE	単色画面 (黒、白、グレー、緑、青)	
EDID	DEFAULT 、720p、1080i、1080p、1024x768、1280x800、1366x768、1280x1024、1400x1050、1600x1200、1920x1080、1920x1200	入力フォーマット (EDID) を設定します。「DEFAULT」にすると、VR-1HD に入力できるすべてのフォーマットの EDID 情報を送信します。 ※ 設定値の変更は、[VALUE] つまみを押し決定するまで反映されません。	
	EDID とは？	EDID とは、VR-1HD をソース機器に接続したときに、VR-1HD からソース機器に送信されるデータです。EDID には、VR-1HD に入力できるフォーマット (解像度、カラー・スペース、色深度) や音声情報などのデータが記録されています。ソース機器は、受信した EDID 情報を元に VR-1HD に最適な映像を出力します。	
	ZOOM	10.0 ~ 100.0 ~ 1000.0% (*1) (*2)	拡大/縮小率を設定します。
	SCALING TYPE	スケーリング・タイプを設定します。(*2)	
		FULL	入力映像のアスペクト比に関係なく、常に全画面に拡大して表示します。
		LETTERBOX	アスペクト比を保持したまま、全画面が表示されるように、入力映像を拡大/縮小します。
		CROP	アスペクト比を保持したまま、出力映像に余白がないように、入力映像を拡大/縮小します。はみ出した映像は、カットされます。
		DOT BY DOT	スケーリングをしません。
MANUAL SIZE H	-2000 ~ 0 ~ 2000 (*1) (*2)	水平方向のサイズを調節します。	
MANUAL SIZE V	-2000 ~ 0 ~ 2000 (*1) (*2)	垂直方向のサイズを調節します。	
POSITION H	-1920 ~ 0 ~ 1920	水平方向の位置を調節します。	
POSITION V	-1200 ~ 0 ~ 1200	垂直方向の位置を調節します。	
BRIGHTNESS	-64 ~ 0 ~ 64	明るさを調節します。	
CONTRAST	-64 ~ 0 ~ 64	コントラストを調節します。	
SATURATION	-64 ~ 0 ~ 64	彩度を調節します。	
RED	-64 ~ 0 ~ 64	赤レベルを調節します。	
GREEN	-64 ~ 0 ~ 64	緑レベルを調節します。	
BLUE	-64 ~ 0 ~ 64	青レベルを調節します。	
COLOR SPACE	RGB 0-255、RGB 16-235、YCC SD、YCC HD、 AUTO	カラー・スペース (映像の色を表現するための方式) を設定します。「AUTO」にすると、自動的に適切なカラー・スペースを適用します。	
FLICKER FILTER	OFF 、ON	「ON」にすると、ちらつきを軽減します。	
KEY SW	映像を切り替えたときに、キー合成を自動的にオン/オフするかを設定します。		
	UNCHANGED	キー合成のオン/オフを自動的に変更しません。	
	OFF (BEFORE TR)	映像を切り替えた瞬間に、キー合成を自動的にオフにします。	
	OFF (AFTER TR)	映像切り替えが完了したときに、キー合成を自動的にオフにします。	
	ON (BEFORE TR)	映像を切り替えた瞬間に、キー合成を自動的にオンにします。	
	ON (AFTER TR)	映像切り替えが完了したときに、キー合成を自動的にオンにします。	

(*1) 入出力フォーマットなどの条件によって、設定値の有効な範囲が変わります。設定値を変更しても映像に変化がない場合があります。

(*2) 本体に読み込んだ静止画は、縮小できません。サイズ変更時に元の静止画より小さくなる場合は、リサイズ (縮小) されずに、静止画の一部が切り出されます。

VIDEO OUTPUT メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
OUTPUT FORMAT	720p 1080i 1080p 1024x768 1280x800 1366x768 1280x1024 1400x1050 1600x1200 1920x1080 1920x1200	MAIN / MONITOR (MENU) 端子の出力フォーマットを設定します。 ※ 設定値の変更は、[VALUE] つまみを押して決定するまで反映されません。
USB FORMAT	1920x1080/29.97p (25p) 1280x720/59.94p (50p) 1280x720/29.97p (25p) 854x480/59.94p (50p) 854x480/29.97p (25p)	USB STREAM 端子の出力フォーマットを設定します。「OUTPUT FORMAT」でフォーマット変換した映像を、さらにストリーミング可能なフォーマットに変換します。 ※ カッコ内の数値は、SYSTEM メニューの「FRAME RATE」を「50Hz」にしたときのフレーム・レートです。 ※ 設定値の変更は、[VALUE] つまみを押して決定するまで反映されません。
MAIN OUTPUT	MAIN 端子から出力される映像 (メイン出力映像) を調整します。	
STATUS	—	MAIN 端子の接続状況を表示します。
COLOR SPACE	RGB 0-255 、RGB 16-235、YCC	カラー・スペース (映像の色を表現するための方式) を設定します。
DVI-D/HDMI	HDMI 、DVI-D	出力信号の種類を設定します。
ZOOM	10.0 ~ 100.0 ~ 1000.0%	拡大/縮小率を設定します。
POSITION H	-1920 ~ 0 ~ 1920	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-1200 ~ 0 ~ 1200	垂直方向の位置を調節します。
BRIGHTNESS	-64 ~ 0 ~ 64	明るさを調節します。
CONTRAST	-64 ~ 0 ~ 64	コントラストを調節します。
SATURATION	-64 ~ 0 ~ 64	彩度を調節します。
RED	-64 ~ 0 ~ 64	赤レベルを調節します。
GREEN	-64 ~ 0 ~ 64	緑レベルを調節します。
BLUE	-64 ~ 0 ~ 64	青レベルを調節します。
MONITOR (MENU) OUTPUT	MONITOR (MENU) 端子から出力される映像を調整します。	
STATUS	—	MONITOR (MENU) 端子の接続状況を表示します。
COLOR SPACE	RGB 0-255 、RGB 16-235、YCC	カラー・スペース (映像の色を表現するための方式) を設定します。
DVI-D/HDMI	HDMI 、DVI-D	出力信号の種類を設定します。
BRIGHTNESS	-64 ~ 0 ~ 64	明るさを調節します。
CONTRAST	-64 ~ 0 ~ 64	コントラストを調節します。
SATURATION	-64 ~ 0 ~ 64	彩度を調節します。
RED	-64 ~ 0 ~ 64	赤レベルを調節します。
GREEN	-64 ~ 0 ~ 64	緑レベルを調節します。
BLUE	-64 ~ 0 ~ 64	青レベルを調節します。
USB STREAM	USB STREAM 端子から出力される映像を調整します。	
STATUS	(HIGH SPEED、SUPER SPEED)	USB 2.0 (HIGH SPEED) と USB 3.0 (SUPER SPEED) のどちらで接続しているかを表示します。パソコンと未接続のときは、「NOT CONNECTED」と表示します。
ZOOM	10.0 ~ 100.0 ~ 1000.0%	拡大/縮小率を設定します。
SCALING TYPE	スケーリング・タイプを設定します。	
	FULL	入力映像のアスペクト比に関係なく、常に全画面に拡大して表示します。
	LETTERBOX	アスペクト比を保持したまま、全画面が表示されるように、入力映像を拡大/縮小します。
	CROP	アスペクト比を保持したまま、出力映像に余白がないように、入力映像を拡大/縮小します。はみ出した映像は、カットされます。
	DOT BY DOT	スケーリングをしません。
MANUAL SIZE H	-2000 ~ 0 ~ 2000 (*3)	水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V	-2000 ~ 0 ~ 2000 (*3)	垂直方向のサイズを調節します。
POSITION H	-1920 ~ 0 ~ 1920	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-1200 ~ 0 ~ 1200	垂直方向の位置を調節します。
CONNECTION RESET	[EXEC]	映像が乱れるなど動作が安定しないときに、パソコンと VR-1HD を再接続します。

(*3) 入出力フォーマットなどの条件によって、設定値の有効な範囲が変わります。設定値を変更しても映像に変化がない場合があります。

SCENE メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SCENE A ~ E (*4)		シーン A ~ E に登録する画面構成を調整します。
TYPE	画面構成のタイプを設定します。	
	PinP	背景映像の上に子画面 (小さい別の画面) の映像を重ねます (ピクチャーインピクチャー)。
	SPLIT	画面を左右/上下 2 分割にして 2 つの映像を表示します。
	PbyP	2 つの画面を並べて表示します。それぞれの画面のサイズや位置を自由に変更することができます (ピクチャーバイピクチャー)。
KEY SW	シーンを呼び出したときに、キー合成を自動的にオン/オフするかどうかを設定します。	
	UNCHANGED	キー合成のオン/オフを自動的に変更しません。
	OFF (BEFORE TR)	シーンを呼び出した瞬間に、キー合成を自動的にオフにします。
	OFF (AFTER TR)	シーンの呼び出しが完了したときに、キー合成を自動的にオフにします。
	ON (BEFORE TR)	シーンを呼び出した瞬間に、キー合成を自動的にオンにします。
	ON (AFTER TR)	シーンの呼び出しが完了したときに、キー合成を自動的にオンにします。
TYPE = PinP のとき		
BACKGROUND CH	INPUT 1 ~ 3 (*5)	背景映像を設定します。
WINDOW CH	INPUT 1 ~ 3 (*5)	子画面の映像を設定します。 ※ 本体に読み込んだ静止画は、縮小できません。子画面に静止画を表示した場合、子画面サイズに合わせてリサイズ (縮小) されずに、静止画の一部が切り出されます。
WINDOW POSITION H	-100.0 ~ 100.0%	子画面の水平方向の位置を調節します。
WINDOW POSITION V	-100.0 ~ 100.0%	子画面の垂直方向の位置を調節します。
WINDOW ASPECT	1:1、4:3、3:2、16:9	子画面のアスペクト比を設定します。
WINDOW SIZE	10.0 ~ 100.0%	子画面のサイズを調節します。
WINDOW CROPPING H	0.0 ~ 100.0%	子画面の水平方向のサイズを調節します。
WINDOW CROPPING V	0.0 ~ 100.0%	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
VIEW POSITION H	-100.0 ~ 100.0%	子画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
VIEW POSITION V	-100.0 ~ 100.0%	子画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
VIEW ZOOM	100.0 ~ 1000.0%	子画面に表示される映像の拡大率を調節します。
TYPE = SPLIT のとき		
PATTERN	分割パターンを設定します。	
	<p>V.CENTER 映像の中央部を垂直方向に切り出します。</p> 	<p>H.CENTER 映像の中央部を水平方向に切り出します。</p> 
	<p>V.STRETCH 映像を水平方向に縮めます。</p> 	<p>H.STRETCH 映像を垂直方向に縮めます。</p> 
	※ 本体に読み込んだ静止画は、縮小できません。[V.STRECH] や [H.STRETCH] で静止画を表示した場合、静止画の解像度や画面の表示範囲によっては、ストレッチ効果が正しくかからないことがあります。	
CENTER	0.0 ~ 100.0%	画面を分割する位置を調節します。
A CH (LEFT/UPPER)	INPUT 1 ~ 3 (*5)	左または上側に表示される映像を設定します。
B CH (RIGHT/LOWER)	INPUT 1 ~ 3 (*5)	右または下側に表示される映像を設定します。
A-CENTER	-25.0 ~ 25.0%	[PATTERN] が [V.CENTER] または [H.CENTER] のとき、有効です。 V.CENTER のとき 左側に表示される映像の水平方向の位置を調節します。 H.CENTER のとき 上側に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
B-CENTER	-25.0 ~ 25.0%	[PATTERN] が [V.CENTER] または [H.CENTER] のとき、有効です。 V.CENTER のとき 右側に表示される映像の水平方向の位置を調節します。 H.CENTER のとき 下側に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。

TYPE = PbyP のとき		
A CH	INPUT 1 ~ 3 (*5)	各ウィンドウ (A 画面、B 画面) の映像を設定します。
B CH	INPUT 1 ~ 2 ~ 3 (*5)	※ 本体に読み込んだ静止画は、縮小できません。静止画を表示した場合、A 画面または B 画面のサイズに合わせてリサイズ (縮小) されずに、静止画の一部が切り出されます。
LAYER ORDER	A/B、B/A	A 画面と B 画面の重なり順 (前面/背面) を設定します。
A POSITION H	-100.0 ~ -25 ~ 100.0%	A 画面の水平方向の位置を調節します。
A POSITION V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	A 画面の垂直方向の位置を調節します。
A ASPECT	1:1、4:3、3:2、16:9	A 画面のアスペクト比を設定します。
A SIZE	10.0 ~ 50.0 ~ 100.0%	A 画面のサイズを調節します。
A CROPPING V	0.0 ~ 100.0%	A 画面の水平方向のサイズを調節します。
A CROPPING V	0.0 ~ 100.0%	A 画面の垂直方向のサイズを調節します。
A VIEW POSITION H	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	A 画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
A VIEW POSITION V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	A 画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
A VIEW ZOOM	100.0 ~ 1000.0%	A 画面に表示される映像の拡大率を調節します。
B POSITION H	-100.0 ~ 25.0 ~ 100.0%	B 画面の水平方向の位置を調節します。
B POSITION V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	B 画面の垂直方向の位置を調節します。
B ASPECT	1:1、4:3、3:2、16:9	B 画面のアスペクト比を設定します。
B SIZE	10.0 ~ 50.0 ~ 100.0%	B 画面のサイズを調節します。
B CROPPING V	0.0 ~ 100.0%	B 画面の水平方向のサイズを調節します。
B CROPPING V	0.0 ~ 100.0%	B 画面の垂直方向のサイズを調節します。
B VIEW POSITION H	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	B 画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
B VIEW POSITION V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	B 画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
B VIEW ZOOM	100.0 ~ 1000.0%	B 画面に表示される映像の拡大率を調節します。
COPY	シーンのコピーに関する設定をします。	
SOURCE	SCENE A ~ E	コピー元のシーンを設定します。
DESTINATION	SCENE A ~ B ~ E	コピー先のシーンを設定します。
COPY	[EXEC]	シーンのコピーを実行します。

(*4) SCENE A ~ E の工場出荷時の設定は、以下のとおりです。

メニュー項目	SCENE A	SCENE B
TYPE	PinP	PinP
KEY SW	UNCHANGED	UNCHANGED
BACKGROUND CH	INPUT 1	INPUT 1
WINDOW CH	INPUT 2	INPUT 3
WINDOW POSITION H	28.5%	-28.5%
WINDOW POSITION V	28.5%	-28.5%
WINDOW ASPECT	16:9	16:9
WINDOW SIZE	30.0%	30.0%
WINDOW CROPPING H	0.0%	0.0%
WINDOW CROPPING V	0.0%	0.0%
VIEW POSITION H	0.0%	0.0%
VIEW POSITION V	0.0%	0.0%
VIEW ZOOM	100.0%	100.0%

メニュー項目	SCENE C	SCENE D	SCENE E
TYPE	SPLIT	SPLIT	SPLIT
KEY SW	UNCHANGED	UNCHANGED	UNCHANGED
PATTERN	V.CENTER	H.CENTER	V.CENTER
CENTER	50.0%	50.0%	31.6%
A CH (LEFT/UPPER)	INPUT 1	INPUT 1	INPUT 3
B CH (RIGHT/LOWER)	INPUT 2	INPUT 2	INPUT 2
A-CENTER	0.0%	0.0%	0.0%
B-CENTER	0.0%	0.0%	0.0%

(*5) INPUT 1 ~ 3 に割り当てる映像ソースは、VIDEO INPUT メニューの [INPUT 1] ~ [INPUT 3] ⇒ [INPUT SOURCE] で設定します。

TRANSITION メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SCENE TRANSITION	シーンが切り替わるときの動作を設定します。 ※ INPUT 1～3 は、「MOTION 以外」の設定では、ミックスで切り替わります。	
	BLACK FADE	黒画面をはさむフェード効果を付けます。すべての画面が同時に切り替わります。
	MIX FADE	フェード効果を付けます。画面ごとに切り替わります。
	MOTION	各画面が動きながら、切り替わります。
TIME	0.0 ～ 1.0 ～ 5.0sec	シーンや映像の切り替え時間を設定します。

KEY メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SW	OFF 、ON	キー合成をオン/オフします。 [KEY] ボタンでオン/オフすることもできます。
KEY SOURCE CH	キー合成時、上に重ねるロゴや映像のソースを設定します。	
	HDMI 1 ～ 3	VIDEO INPUT 1～3 端子から入力される映像
	STILL IMAGE 1、2	本体に読み込んだ静止画
KEY COLOR	キー合成時のキー・タイプ (抜き色) を設定します。	
	BLACK	ルミナンス・キーで合成します。明るさを基準にして、黒色を透明にします。
	WHITE	ルミナンス・キーで合成します。明るさを基準にして、白色を透明にします。
	GREEN 1～3	クロマ・キーで合成します。色味を基準にして、緑色を透明にします。1～3の中から最も適切に合成できるプリセットを選びます。
	BLUE 1～3	クロマ・キーで合成します。色味を基準にして、青色を透明にします。1～3の中から最も適切に合成できるプリセットを選びます。
KEY LEVEL	0 ～ 32 ～ 127	キーの抜け具合 (透過度) を調節します。
KEY GAIN	0 ～ 4 ～ 16	キーのエッジのぼかし具合 (半透過領域) を調節します。
SOURCE ZOOM	10.0 ～ 100.0 ～ 1000.0% (*6) (*7)	上に重ねたロゴや映像の拡大/縮小率を設定します。
SOURCE SCALING	上に重ねたロゴや映像のスケーリング・タイプを設定します。(*7)	
	FULL	ロゴや映像のアスペクト比に関係なく、常に全画面に拡大して表示します。
	LETTERBOX	アスペクト比を保持したまま、全画面が表示されるように、ロゴや映像を拡大/縮小します。
	CROP	アスペクト比を保持したまま、出力映像に余白がないように、ロゴや映像を拡大/縮小します。はみ出した映像は、カットされます。
	DOT BY DOT	スケーリングをしません。
MANUAL SIZE H	-2000 ～ 0 ～ 2000 (*6) (*7)	上に重ねたロゴや映像の水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V	-2000 ～ 0 ～ 2000 (*6) (*7)	上に重ねたロゴや映像の垂直方向のサイズを調節します。
SOURCE POSITION H	-1920 ～ 0 ～ 1920	上に重ねたロゴや映像の水平方向の位置を調節します。
SOURCE POSITION V	-1200 ～ 0 ～ 1200	上に重ねたロゴや映像の垂直方向の位置を調節します。

(*6) 入出力フォーマットなどの条件によって、設定値の有効な範囲が変わります。設定値を変更しても映像に変化がない場合があります。

(*7) 本体に読み込んだ静止画は、縮小できません。サイズ変更時に元の静止画より小さくなる場合は、リサイズ (縮小) されずに、静止画の一部が切り出されます。

AUTO SWITCHING メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SW	OFF 、ON	オート・スイッチング機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、INPUT 1～3の映像とシーン A～E が自動的に切り替わります。 [AUTO SW] ボタンでオン/オフすることもできます。
TYPE	オート・スイッチングの動作モードを設定します。	
	AUTO SCAN	指定した間隔で映像が切り替わります。
	BEAT SYNC	楽曲 (入力音声) からビートを検出し、ビートのタイミングで映像が切り替わります。
	VIDEO FOLLOWS AUDIO	マイクから入力される音声を検出し、音量に応じて任意の映像に切り替わります。
TYPE = AUTO SCAN のとき		
SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。	
	NORMAL	INPUT 1～3 ⇒ シーン A～E の順に切り替わります。 ※ INPUT 1～3 は、映像入力がないとスキップされます。
	RANDOM	ランダムに切り替わります。
INPUT 1～3 DURATION	OFF、1～ 7 ～120sec	映像の表示時間を設定します。「OFF」にすると、映像切り替えの対象になりません。
SCENE A～E DURATION	OFF 、1～120sec	
TYPE = BEAT SYNC のとき		
SYNC SOURCE	HDMI 1～3、MIC 1～2、LINE、USB FROM PC、 PLAYBACK (BGM/SE)	映像を同期させる入力音声を設定します。
CYCLE	1～ 4 ～10	何拍で次の映像に切り替えるかを設定します。
SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。	
	NORMAL	INPUT 1～3 ⇒ シーン A～E の順に切り替わります。 ※ INPUT 1～3 は、映像入力がないとスキップされます。
	RANDOM	ランダムに切り替わります。
INPUT 1～3 SW	OFF、 ON	映像切り替えの対象 (ON) / 非対象 (OFF) を設定します。
SCENE A～E SW	OFF 、ON	
TYPE = VIDEO FOLLOWS AUDIO のとき		
TIME	1～ 2 ～120sec	マイク音声を検出し、映像/シーンが切り替わったあと、再び音声の検出を始めるまでの時間を設定します。
MIC 1 SENSE	0～ 50 ～100	MIC 1、2 端子から入力される音声の検出レベルを設定します。レベルが高いほど、音声を検出しやすくなります。
MIC 2 SENSE	0～ 50 ～100	
MIC 1 SELECT	OFF、INPUT 1～3、SCENE A～E	MIC 1 で音声を検出したときに出力する映像/シーンを設定します。
MIC 2 SELECT	初期値は、以下のとおりです。	MIC 2 で音声を検出したときに出力する映像/シーンを設定します。
MIC 1 + MIC 2 SELECT	MIC 1 SELECT : INPUT 1 MIC 2 SELECT : INPUT 2	MIC 1 と MIC 2 の両方で音声を検出したときに出力する映像/シーンを設定します。
SILENT SELECT	MIC 1 + MIC 2 SELECT : INPUT 3 SILENT SELECT : OFF	

ON AIR メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
OFF COLOR	BLACK 、WHITE	メイン出力映像をフェード・イン/アウトするときの背景色 (黒、白) を設定します。
AUDIO FADE	[ON AIR] ボタンを押したときの動作を設定します。	
	OFF	映像のみをフェード・イン/アウトします。
	ON	映像と音声を同時にフェード・イン/アウトします。

AUDIO INPUT メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
MIC 1、2	MIC 1、2 端子から入力される音声を調整します。	
HEAD AMP GAIN	0 ~ 36 ~ 64dB	アナログ領域での入力ゲイン (感度) を調節します。
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) での入力ゲイン (感度) を調節します。
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
REVERB SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	リバーブへの音声の送り量を調節します。
AUX SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	AUX バスへの音声の送り量を調節します。
DELAY	0.0 ~ 500.0ms (*8) (0.0 ~ 29.9/25.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 設定した時間だけ音声を遅らせて出力します。
PAN	LEFT ~ CENTER ~ RIGHT	定位 (パン) を調節します。
HOWLING CANCELLER	OFF 、ON	ハウリング・キャンセラー機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、ハウリングを抑制します。
DYNAMICS	(OFF、ON)	[VALUE] つまみを押すと、DYNAMICS メニューを表示します。
GATE	OFF 、ON	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。 効果 設定した基準レベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
GATE THRESHOLD	-80.0 ~ -50.0 ~ 0.0dB	音声を除去するときの、基準レベルを設定します。
GATE RELEASE	30 ~ 860 ~ 5000ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに音声が減衰しきるまでの時間を設定します。
COMP/LMT	OFF 、ON	コンプレッサーまたはリミッターのオン/オフを設定します。
COMP/LMT TYPE	コンプレッサーまたはリミッターを選びます。	
COMP1	「音楽向け」のコンプレッサーです。 効果 設定した基準レベルを超える音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。	
COMP2	「音声向け」のコンプレッサーです。「COMP1」より早く効果がかけられます。	
LIMITER	リミッターです。 効果 設定した基準レベルを超える音声を圧縮します。予期せず大きな音声が入力されたときに、音割れを防止します。 ※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。	
COMP/LMT THRESHOLD	-80.0 ~ -50.0 ~ 0.0dB	コンプレッサー/リミッターがかかる基準レベルを設定します。
EQ	(OFF、ON)	[VALUE] つまみを押すと、EQ (イコライザー) メニューを表示します。
SW	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 帯域ごとに音質を調整します。
HI	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
LO	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	20.0 ~ 100 ~ 500Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
HPF 75Hz	OFF 、ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、75Hz です。
LOAD PRESET	[VALUE] つまみを押すと、エフェクト (ハイパス・フィルター、イコライザー) のプリセット・リストを表示します。プリセットを選ぶと、各エフェクトの設定が上書きされます。	
DEFAULT	何も効果をかけないフラットな設定です。	
WIND NR	風によるノイズを低減します。	
VIBRATION NR	振動などの低音のノイズを低減します。	
LIP NR	しゃべったり、歌ったりするときに、唇などから出るノイズを低減します。声の収録向けです。	
SPEECH	話し声を聞き取りやすくします。	
VOCAL	歌声を際立たせるようにします。	
PHANTOM +48V	(OFF、ON)	[PHANTOM] スwitchのオン/オフを表示します。

(*8) カッコ内のフレーム数は、SYSTEM メニューの「FRAME RATE」設定によって異なります。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
LINE	LINE IN 端子から入力される音声を調整します。	
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	入力ゲイン (感度) を調節します。
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
REVERB SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	リバーブへの音声の送り量を調節します。
AUX SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	AUX バスへの音声の送り量を調節します。
DELAY	0.0 ~ 500.0ms (*9) (0.0 ~ 29.9/25.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 設定した時間だけ音声を遅らせて出力します。
EQ	(OFF、ON)	[VALUE] つまみを押すと、EQ (イコライザー) メニューを表示します。
SW	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 帯域ごとに音質を調整します。
HI	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
LO	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	20.0 ~ 100 ~ 500Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
HDMI 1 ~ 3	VIDEO INPUT 1 ~ 3 端子から入力される音声を調整します。	
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	入力ゲイン (感度) を調節します。
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
REVERB SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	リバーブへの音声の送り量を調節します。
AUX SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	AUX バスへの音声の送り量を調節します。
DELAY	0.0 ~ 500.0ms (0.0 ~ 29.9/25.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 設定した時間だけ音声を遅らせて出力します。
EQ	(OFF、ON)	[VALUE] つまみを押すと、EQ (イコライザー) メニューを表示します。
SW	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 帯域ごとに音質を調整します。
HI	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
LO	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	20.0 ~ 100 ~ 500Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

(*9) カッコ内のフレーム数は、SYSTEMメニューの「FRAME RATE」設定によって異なります。

USB FROM PC	USB STREAM 端子から入力される音声を調整します。	
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0dB	入力ゲイン (感度) を調節します。
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
REVERB SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	リバーブへの音声の送り量を調節します。
AUX SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	AUX バスへの音声の送り量を調節します。
DELAY	0.0 ~ 500.0ms (*10) (0.0 ~ 29.9/25.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 設定した時間だけ音声を遅らせて出力します。
EQ	(OFF、ON)	[VALUE] つまみを押すと、EQ (イコライザー) メニューを表示します。
SW	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 帯域ごとに音質を調整します。
HI	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
LO	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	20.0 ~ 100 ~ 500Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
PLAYBACK (BGM/SE)	再生される音楽ファイル (BGM や効果音) の音声を調整します。	
DIGITAL GAIN	-42.0 ~ -12.0 ~ 42.0dB	入力ゲイン (感度) を調節します。
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	入力音量を調節します。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。
SOLO	OFF 、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
REVERB SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	リバーブへの音声の送り量を調節します。
AUX SEND	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	AUX バスへの音声の送り量を調節します。
EQ	(OFF、ON)	[VALUE] つまみを押すと、EQ (イコライザー) メニューを表示します。
SW	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 帯域ごとに音質を調整します。
HI	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
LO	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	20.0 ~ 100 ~ 500Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

(*10) カッコ内のフレーム数は、SYSTEMメニューの「FRAME RATE」設定によって異なります。

AUDIO OUTPUT メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
BUS SELECT	各端子に割り当てるバスを設定します。	
MONITOR (MENU)	MAIN 、AUX	「MAIN」(メイン・バス) にすると、すべての入力音声をミックスして出力します。メイン出力と同一の音声です。
USB STREAM	MAIN 、AUX	「AUX」(AUX バス) にすると、AUX バスに送られた入力音声だけをミックスして出力します。メイン出力とは異なる音声を出力することができます。
LINE OUT	MAIN 、AUX	バスとは？ 入力音声をミックスして送り出す先を「バス」と呼びます。VR-1HD には、「メイン・バス」と「AUX バス」の 2 種類のバスがあります。MAIN 端子を除き、出力端子ごとに任意のバスを割り当てることができます。
PHONES	MAIN 、AUX	
MAIN BUS	メイン・バスの音声を調整します。	
LEVEL	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	出力音量を調節します。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。
LIMITER	OFF 、ON	リミッターのオン/オフを設定します。 効果 ミックスされる音声が設定した基準レベルを超えないように音声を圧縮します。 ※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。
LIMITER THRESHOLD	-40.0 ~ -6.0 ~ 0.0dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。
EQ	(OFF、ON)	[VALUE] つまみを押すと、EQ (イコライザー) メニューを表示します。
SW	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 帯域ごとに音質を調整します。
HI	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
LO	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	20.0 ~ 100 ~ 500Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
AUX BUS	AUX バスの音声を調整します。	
LEVEL	-INF ~ 10.0dB	出力音量を調節します。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。
LIMITER	OFF 、ON	リミッターのオン/オフを設定します。 効果 ミックスされる音声が設定した基準レベルを超えないように音声を圧縮します。 ※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。
LIMITER THRESHOLD	-40.0 ~ -6.0 ~ 0.0dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。
DELAY	0.0 ~ 500.0ms (*11) (0.0 ~ 29.9/25.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 設定した時間だけ音声を遅らせて出力します。
EQ	(OFF、ON)	[VALUE] つまみを押すと、EQ (イコライザー) メニューを表示します。
SW	OFF 、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 帯域ごとに音質を調整します。
HI	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	高域を増幅/減衰します。
HI FREQ	1.00 ~ 10.0 ~ 20.0kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	中域を増幅/減衰します。
MID FREQ	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
MID Q	0.5 ~ 1.0 ~ 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
LO	-15.0 ~ 0.0 ~ 15.0dB	低域を増幅/減衰します。
LO FREQ	20.0 ~ 100 ~ 500Hz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
USB STREAM	USB STREAM 端子から出力される音声を調整します。	
LEVEL	-INF ~ 10.0dB	出力音量を調節します。
MUTE	OFF 、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。
DELAY	0.0 ~ 500.0ms (*12) (0.0 ~ 14.9/29.9/12.0/25.0frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 設定した時間だけ音声を遅らせて出力します。

(*11) カッコ内のフレーム数は、SYSTEMメニューの「FRAME RATE」設定によって異なります。

(*12) カッコ内のフレーム数は、VIDEO OUTPUTメニューの「USB FORMAT」設定によって異なります。

AUDIO FOLLOWS VIDEO メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
HDMI 1 ~ 3 SW	オーディオ・フォロー機能のオン/オフを設定します。オーディオ・フォローは、映像の切り替えに連動させて、音声の出力を自動的に切り替える機能です。	
	OFF	入力映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。
	ON	HDMI 入力される映像と音声と一緒に切り替わります。
MIC 1 SW	OFF 、INPUT 1 ~ 3	各音声に対して、オーディオ・フォローを使う入力映像 (INPUT 1 ~ 3) を指定します。指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。 「OFF」にすると、入力映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。
MIC 2 SW	OFF 、INPUT 1 ~ 3	
LINE SW	OFF 、INPUT 1 ~ 3	
USB FROM PC SW	OFF 、INPUT 1 ~ 3	
PLAYBACK (BGM/SE) SW	OFF 、INPUT 1 ~ 3	

AUTO MIXING メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SW	OFF 、ON	オート・ミキシング機能のオン/オフを設定します。オート・ミキシングは、音量調整を自動的に制御する機能です。
MIC 1 SW	OFF、 ON	オート・ミキシングの対象 (ON) / 非対象 (OFF) を設定します。
MIC 2 SW	OFF、 ON	
LINE SW	OFF 、ON	
HDMI 1 SW	OFF 、ON	
HDMI 2 SW	OFF 、ON	
HDMI 3 SW	OFF 、ON	
USB FROM PC SW	OFF 、ON	

ECHO CANCELLER メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
MIC 1 SW	OFF 、ON	エコー・キャンセラー機能のオン/オフを設定します。エコー・キャンセラーは、Web 会議システムのスピーカーとマイクを利用した通話で、通話音声からエコーを除去する機能です。
MIC 2 SW	OFF 、ON	「ON」にすると、VR-1HD に接続したマイクが拾った音声からエコー成分を除去して、自分の声だけを相手に送ることができます。
MIC 1 DEPTH	1 ~ 5 ~ 10	エコー・キャンセラーの効き具合を調節します。
MIC 2 DEPTH	1 ~ 5 ~ 10	

AUDIO EFFECTS メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明	
EFFECTS 1 ~ 4 (*11)	AUDIO EFFECTS [1] ~ [4] ボタンに割り当てる機能や機能の詳細を設定します。		
ASSIGN	AUDIO EFFECTS [1] ~ [4] ボタンに割り当てる機能を設定します。		
	NONE	機能を割り当てません。	
	VOICE CHANGER	ボイス・チェンジャーをオン/オフします。 効果 マイクから入力される声の音程や音質を変えます。	
	PLAYBACK (BGM/SE)	音楽ファイル (BGM や効果音) を再生/停止します。	
	REVERB	リバーブをオン/オフします。 効果 音声に残響を加えます。	
	MUTE	音声のミュート機能をオン/オフします。	
ASSIGN = SOLO	入力音声のソロ機能をオン/オフします。		
ASSIGN = VOICE CHANGER のとき			
SW	OFF , ON	ボイス・チェンジャーをオン/オフします。 機能を割り当てた AUDIO EFFECTS ボタンでオン/オフすることもできます。	
SW MODE	AUDIO EFFECTS ボタンの動作を設定します。		
	MOMENTARY	ボタンを押している間だけオンになり、ボタンから指を離すとオフに戻ります。	
	LATCH	ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。	
TARGET	MIC 1 , MIC 2	エフェクトをかけるマイク音声を設定します。	
PITCH	-12 ~ +12	声の高さ (ピッチ) を半音単位で調節します。「0」が元の声の高さです。	
FORMANT	-10 ~ +4 ~ +10	声の性質 (フォルマント) を調節します。- (マイナス) にするほど男性的な声質に、+ (プラス) にするほど女性的な声質に変化します。「0」が元の声です。	
ROBOT	OFF , ON	「ON」にすると、声の高さを一定にして、無機質なロボットのような声にします。	
MIX	0 ~ 100	普通の声 (0) とエフェクトをかけた声 (100) のバランスを調節します。	
LED COLOR	RED, GREEN, YELLOW, BLUE, MAGENTA, CYAN	AUDIO EFFECTS ボタンの点灯色を設定します。	
ASSIGN = PLAYBACK (BGM/SE) のとき			
SW	OFF , ON	BGM や効果音を再生/停止します。	
SW MODE	AUDIO EFFECTS ボタンの動作を設定します。		
	MOMENTARY	ボタンを押している間だけオンになり、ボタンから指を離すとオフに戻ります。	
	LATCH	ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。	
AUDIO ASSIGN	再生する音楽ファイルを選びます。[VALUE] つまみを押すと、素材リストを表示します。		
	BriskAfternoon	BGM のサンプル素材です。	
	Applause	効果音 (拍手) のサンプル素材です。	
	USB MEMORY	USB メモリーに保存されている音楽ファイルを使います。 [VALUE] つまみを押すと、USB メモリーのルート・ディレクトリーに保存されている音楽ファイルを一覧表示します。 再生できる音楽ファイル	
		形式 (拡張子)	WAV (.wav)
		サンプル・レート	44.1, 48kHz
	ビット数	16 ビット	
	チャンネル数	ステレオ、モノ	
	ファイル・サイズ	2GB 以内	
	ファイル名	半角英数 8 文字以内 ※ 必ず拡張子「.wav」を付けてください。	
		※ 10ms (ミリ秒) 以内の音楽ファイルは、正しく鳴らせないことがあります。 ※ VR-1HD は、接続した USB メモリー内の音楽ファイルを直接再生します。USB メモリー内の音楽ファイルを選んでいても、USB メモリーが接続されていないと再生できません。	
LEVEL	-INF ~ 10.0dB	音楽ファイルの再生音量を調節します。	
LOOP	OFF, ON	ループ再生のオン/オフを設定します。	
FADE IN	OFF, 0.1 ~ 10.0sec	音楽ファイルのフェード・イン時間を設定します。	
FADE OUT	OFF, 0.1 ~ 10.0sec	音楽ファイルのフェード・アウト時間を設定します。	
LED COLOR	RED, GREEN, YELLOW, BLUE, MAGENTA, CYAN	AUDIO EFFECTS ボタンの点灯色を設定します。	

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
ASSIGN = REVERB のとき		
SW	OFF、 ON	リバーブをオン/オフします。 機能を割り当てた AUDIO EFFECTS ボタンでオン/オフすることもできます。
SW MODE	AUDIO EFFECTS ボタンの動作を設定します。	
	MOMENTARY	ボタンを押している間だけオンになり、ボタンから指を離すとオフに戻ります。
	LATCH	ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。
LEVEL	-INF ~ -20.0 ~ 10.0dB	リバーブからの音声の戻り量(リターン・レベル)を設定します。全体にかかるリバーブの深さを調節します。
TIME	0.0 ~ 0.5 ~ 5.0sec	残響音が消えるまでの長さを設定します。
TYPE	リバーブ・タイプを設定します。	
	ROOM	部屋の自然な残響が得られます。
	HALL	コンサート・ホールなどで演奏しているような響きが得られます。
LED COLOR	RED、GREEN、YELLOW、 BLUE、MAGENTA、CYAN	AUDIO EFFECTS ボタンの点灯色を設定します。
ASSIGN = MUTE のとき		
SW	OFF 、ON	[CH] で指定した音声のミュート機能をオン/オフします。 機能を割り当てた AUDIO EFFECTS ボタンでオン/オフすることもできます。
SW MODE	AUDIO EFFECTS ボタンの動作を設定します。	
	MOMENTARY	ボタンを押している間だけオンになり、ボタンから指を離すとオフに戻ります。
	LATCH	ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。
CH	HDMI 1 ~ 3、 MIC 1 ~ 2、 LINE、USB FROM PC、 USB STREAM、AUX、MAIN	操作対象の音声を指定します。
LED COLOR	RED、GREEN、YELLOW、 BLUE、MAGENTA、CYAN	AUDIO EFFECTS ボタンの点灯色を設定します。
ASSIGN = SOLO のとき		
SW	OFF 、ON	[CH] で指定した音声のソロ機能をオン/オフします。 機能を割り当てた AUDIO EFFECTS ボタンでオン/オフすることもできます。
SW MODE	AUDIO EFFECTS ボタンの動作を設定します。	
	MOMENTARY	ボタンを押している間だけオンになり、ボタンから指を離すとオフに戻ります。
	LATCH	ボタンを押すたびに、オン/オフが切り替わります。
CH	HDMI 1 ~ 3、 MIC 1 ~ 2、 LINE、USB FROM PC	操作対象の音声を指定します。
LED COLOR	RED、GREEN、YELLOW、 BLUE、MAGENTA、CYAN	AUDIO EFFECTS ボタンの点灯色を設定します。

(*13) EFFECTS 1 ~ 4 の工場出荷時の設定は、以下のとおりです。

メニュー項目	EFFECTS 1	メニュー項目	EFFECTS 2	メニュー項目	EFFECTS 3	メニュー項目	EFFECTS 4
ASSIGN	VOICE CHANGER	ASSIGN	PLAYBACK (BGM/SE)	ASSIGN	PLAYBACK (BGM/SE)	ASSIGN	REVERB
SW	OFF	SW	OFF	SW	OFF	SW	OFF
SW MODE	LATCH	SW MODE	LATCH	SW MODE	LATCH	SW MODE	LATCH
TARGET	MIC 1	AUDIO ASSIGN	BriskAfternoon	AUDIO ASSIGN	Applause	LEVEL	-20.0dB
PITCH	+12	LEVEL	0.0dB	LEVEL	0.0dB	TIME	0.5sec
FORMANT	+4	LOOP	ON	LOOP	OFF	TYPE	ROOM
ROBOT	OFF	FADE IN	OFF	FADE IN	OFF	LED COLOR	YELLOW
MIX	100	FADE OUT	3.0sec	FADE OUT	1.0sec		
LED COLOR	MAGENTA	LED COLOR	CYAN	LED COLOR	BLUE		

USB MEMORY メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明						
LOAD SETTINGS	[EXEC]	USB メモリー内の設定ファイル (.VR1) を一覧表示します。 設定ファイルを選ぶと、本体に設定を呼び出すことができます。現在の設定は、上書きされます。						
SAVE SETTINGS	[EXEC]	USB メモリー内の設定ファイル (.VR1) を一覧表示します。 設定ファイルを選ぶと、現在の設定を選んだ設定ファイルに上書き保存することができます。						
SAVE SETTINGS AS	[EXEC]	USB メモリーに現在の設定をファイルとして新規保存します。「SYS + 4 桁の連番 .VR1」がファイル名となります。 ファイルに保存されない内容 <ul style="list-style-type: none"> • SYSTEM メニューの「TEST PATTERN」、「TEST TONE」設定。常に「OFF」で起動します。 • 本体に読み込んだ静止画。静止画のファイル名のみ保存されます。 • 「ON AIR」ボタンの状態。常に点灯した状態で起動します。 • 「PLAYBACK (BGM/SE)」を割り当てた AUDIO EFFECTS ボタンの状態。常にオフの状態に起動します。 • 音量つまみとフェーダーの位置。 						
LOAD STILL IMAGE	1、2	静止画の読み込み先 (本体メモリー 1 または 2) を設定します。 [VALUE] つまみを押すと、USB メモリーのルート・ディレクトリーに保存されている静止画を一覧表示します。 静止画を選ぶと、本体に読み込むことができます。 読み込み対応フォーマット <table border="1"> <tbody> <tr> <td>フォーマット</td> <td>Windows Bitmap File (.bmp)、24ビットカラー、非圧縮</td> </tr> <tr> <td>解像度</td> <td>最大 1920 × 1200 ピクセル</td> </tr> <tr> <td>ファイル名</td> <td>半角英数 8 文字以内 ※ 必ず拡張子「.bmp」を付けてください。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 静止画は、本体メモリーに一時的に保存されます。電源を切ると、静止画は削除されます。 ※ 静止画が読み込まれている本体メモリーには、「*」マークが表示されます。 ※ VR-1HD 起動時に、前回読み込んだ静止画を自動的に読み込ませることができます。USBメモリーのルート・ディレクトリーに同じファイルを保存し、USBメモリーを接続した状態で、VR-1HD を起動します。</p>	フォーマット	Windows Bitmap File (.bmp)、24ビットカラー、非圧縮	解像度	最大 1920 × 1200 ピクセル	ファイル名	半角英数 8 文字以内 ※ 必ず拡張子「.bmp」を付けてください。
フォーマット	Windows Bitmap File (.bmp)、24ビットカラー、非圧縮							
解像度	最大 1920 × 1200 ピクセル							
ファイル名	半角英数 8 文字以内 ※ 必ず拡張子「.bmp」を付けてください。							
FORMAT	[EXEC]	USB メモリーをフォーマットします。						

SYSTEM メニュー

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明	
HDCP	OFF 、ON	HDCPの有効 (ON) / 無効 (OFF) を設定します。「ON」にすると、著作権保護 (HDCP) された映像を入力できます。また、出力される映像に HDCP を付加します。 ※「ON」に設定時、USB STREAM 端子から映像 / 音声は出力されません。	
FRAME RATE	59.94 、50Hz	フレーム・レートを設定します。 ※ 設定値の変更は、[VALUE] つまみを押して決定するまで反映されません。	
TEST PATTERN	OFF 、75% COLOR BAR、100% COLOR BAR、RAMP、STEP、HATCH	テスト・パターンを設定します。	
TEST TONE	OFF 、-20dB、-10dB、0dB、0dB-L、0dB-R	テスト・トーンを設定します。「0dB-L」または「0dB-R」にすると、それぞれ左チャンネル (L) / 右チャンネル (R) からテスト・トーンを出力します。	
PANEL LOCK	[ENTER]	PANEL LOCK メニューを表示します。	
	パネル・ロックの対象 (ON) / 非対象 (OFF) を設定します。		
	メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
	ALL	OFF 、ON	以下のボタンとつまみの設定を一括でオン / オフします。
	MENU	OFF 、ON	[MENU] ボタン
	VALUE	OFF 、ON	[VALUE] つまみ
	INPUT SELECT	OFF 、ON	INPUT [1] ~ [3] ボタン
	SCENE EDIT	OFF 、ON	[SCENE EDIT] ボタン
	SCENE SELECT	OFF 、ON	SCENE [A] ~ [E] ボタン
	AUTO SW	OFF 、ON	[AUTO SW] ボタン
	ON AIR	OFF 、ON	[ON AIR] ボタン
	KEY	OFF 、ON	[KEY] ボタン
	AUDIO EFFECTS	OFF 、ON	AUDIO EFFECTS [1] ~ [4] ボタン
	MIC 1 FADER	OFF 、ON	[MIC 1] フェーダー
	MIC 2 FADER	OFF 、ON	[MIC 2] フェーダー
	LINE IN FADER	OFF 、ON	[LINE] フェーダー
	MAIN VOLUME	OFF 、ON	[MAIN] つまみ
	USB STREAM VOLUME	OFF 、ON	[USB STREAM] つまみ
	PHONES VOLUME	OFF 、ON	[PHONES] つまみ
	LEVEL SETUP	OFF 、ON	[LEVEL SETUP] ボタン
操作パネルのロック / ロック解除 [MENU] ボタンと [SCENE EDIT] ボタンを同時に 3 秒以上長押しすると、操作パネルをロック / ロック解除します (P.30)。			
LED DIMMER	0 ~ 7	ボタンやインジケーターが点灯したときの明るさを調節します。 ※「0」に設定時、ボタンやインジケーターは完全に消灯しません。	
AUTO INPUT DETECT	OFF、 ON	オート・インプット・ディテクト機能のオン / オフを設定します。「ON」にすると、出力している映像の入力が途切れたとき、自動的に入力を検知して、映像を切り替えます。 ※ シーンが選ばれている場合は、オート・インプット・ディテクト機能が無効になります。	
DELETE STILL IMAGE	1 、2	静止画を削除する本体メモリーを選びます。[VALUE] つまみを押すと、読み込まれている静止画を削除することができます。 ※ 静止画が読み込まれている本体メモリーには、[*] マークが表示されます。	
AUTO POWER OFF	OFF 、ON	オート・オフ機能のオン / オフを設定します。 「ON」にしたときは、以下の状態のまま 240 分経過すると、自動的に VR-1HD の電源が切れます。 <ul style="list-style-type: none"> VR-1HD が何も操作されない 音声 / 映像の入力がない MAIN / MONITOR (MENU) / THRU 端子に機器が接続されていない 	
FACTORY RESET	[EXEC]	工場出荷時の状態に戻します。	
VERSION	—	システム・プログラムのバージョンを表示します。	

LEVEL SETUP メニュー

[LEVEL SETUP] ボタンを押すと、表示されます。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
LEVEL SETUP (LEVEL) (1/5) 音量を調節します。		
HDMI 1	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	VIDEO INPUT 1 ~ 3 入力
HDMI 2	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	
HDMI 3	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	
USB FROM PC	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	USB 入力
PLAYBACK (BGM/SE)	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	音楽ファイル (P.26)
AUX BUS	-INF ~ 0.0 ~ 10.0dB	AUX バス出力
LEVEL SETUP (GAIN) (2/5) 「HEAD AMP GAIN」(アナログ領域での入力ゲイン) を調節します。		
MIC 1	0 ~ 36 ~ 64dB	MIC 1、2 入力
MIC 2	0 ~ 36 ~ 64dB	
LEVEL SETUP (SOLO) (3/5) ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。		
MIC 1	OFF 、ON	MIC 1、2 入力
MIC 2	OFF 、ON	
LINE	OFF 、ON	LINE 入力
HDMI 1	OFF 、ON	VIDEO INPUT 1 ~ 3 入力
HDMI 2	OFF 、ON	
HDMI 3	OFF 、ON	
USB FROM PC	OFF 、ON	USB 入力
PLAYBACK (BGM/SE)	OFF 、ON	音楽ファイル (P.26)
LEVEL SETUP (MUTE) (4/5 ~ 5/5) ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に音声を消音します。		
MIC 1	OFF 、ON	MIC 1、2 入力
MIC 2	OFF 、ON	
LINE	OFF 、ON	LINE 入力
HDMI 1	OFF 、ON	VIDEO INPUT 1 ~ 3 入力
HDMI 2	OFF 、ON	
HDMI 3	OFF 、ON	
USB FROM PC	OFF 、ON	USB 入力
PLAYBACK (BGM/SE)	OFF 、ON	音楽ファイル (P.26)
MAIN BUS	OFF 、ON	メイン・バス出力
AUX BUS	OFF 、ON	AUX バス出力
USB STREAM	OFF 、ON	USB 出力

※ LEVEL SETUP メニューは、AUDIO INPUT / OUTPUT メニューから、一部の機能 (音量/入力ゲイン/ソロ/ミュート) を抜粋したものです。

主な仕様

ローランド VR-1HD:AV ストリーミング・ミキサー

■ 映像		
映像処理	4:4:4 (Y/Pb/Pr)、10ビット	
入力端子	VIDEO INPUT 1 ~ 3 端子	HDMI タイプ A × 3 ※ HDCP 対応、マルチフォーマット対応
出力端子	MAIN 端子	HDMI タイプ A ※ HDCP 対応
	MONITOR 端子	
	THRU 端子	
	USB STREAM 端子	USB B タイプ
入力映像フォーマット	480/59.94i、576/50i、480/59.94p、576/50p、720/59.94p、720/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/59.94p、1080/50p VGA (640×480/60Hz)、SVGA (800×600/60Hz)、XGA (1024×768/60Hz)、WXGA (1280×800/60Hz) HD (1280×720/60Hz)、SXGA (1280×1024/60Hz)、FWXGA (1366×768/60Hz)、SXGA+ (1400×1050/60Hz) UXGA (1600×1200/60Hz)、FHD (1920×1080/60Hz)、WUXGA (1920×1200/60Hz) ※ リフレッシュ・レートは、各解像度の最大値です。 ※ CEA-861-E、VESA DMT Version 1.0 Revision 11 準拠 ※ 1920×1200/60Hz: Reduced blanking ※ フレーム・レートは、SYSTEM メニューで選びます (59.94Hz または 50Hz)。	
出力映像フォーマット	MAIN 端子、MONITOR 端子 720/59.94p、720/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/59.94p、1080/50p、XGA (1024×768/60Hz) (*1) WXGA (1280×800/60Hz) (*1)、SXGA (1280×1024/60Hz) (*1)、FWXGA (1366×768/60Hz) (*1) SXGA+ (1400×1050/60Hz) (*1)、UXGA (1600×1200/60Hz)、FHD (1920×1080/60Hz)、WUXGA (1920×1200/60Hz) ※ フレーム・レートは、SYSTEM メニューで選びます (59.94Hz または 50Hz)。	
	USB STREAM 端子 854×480/29.97p、854×480/25p、854×480/59.94p、854×480/50p、720/29.97p、720/25p、720/59.94p、720/50p 1080/29.97p、1080/25p ※ フレーム・レートは、SYSTEM メニューで選びます (59.94Hz または 50Hz)。	
静止画 (Still Image) (*2)	最大サイズ	1920×1200 ピクセル
	フォーマット	Windows Bitmap File (.bmp)、24ビットカラー、非圧縮
映像効果	シーン	ピクチャーインピクチャー、スプリット、ピクチャーバイピクチャー
	切り替え	黒フェード、ミックス・フェード、モーション
	キー合成	ルミナンス・キー、クロマ・キー
	その他	静止画再生、アウトプット・フェード (音声、映像:白または黒)、テスト・パターン出力

(*1) フレーム・レートの設定が 50Hz のとき、出力リフレッシュ・レートは 75Hz になります。

(*2) 最大 2 枚まで、起動時に USB メモリーから読み込み可能です。

■ 音声		
音声処理	サンプル・レート	48kHz、24ビット
音声フォーマット	VIDEO INPUT 1 ~ 3 端子	リニア PCM、48kHz、24ビット、ステレオ
	USB STREAM 端子	リニア PCM、48kHz、16ビット、ステレオ
入力端子	VIDEO INPUT 1 ~ 3 端子	HDMI タイプ A
	MIC 1 ~ 2 端子	コンボ・タイプ (XLR、TRS 標準)、ファンタム電源 (DC 48V、10mA Max)
	LINE IN 端子	RCA ピン・タイプ
	USB STREAM 端子	USB B タイプ
出力端子	MAIN 端子	HDMI タイプ A
	MONITOR 端子	HDMI タイプ A
	LINE OUT 端子	RCA ピン・タイプ
	USB STREAM 端子	USB B タイプ
	PHONES 端子	ステレオ・ミニ・タイプ
規定入力レベル	MIC 1 ~ 2 端子	-60 ~ +10dBu (最大入力レベル: +28dBu)
	LINE IN 端子	-10dBu (最大入力レベル: +8dBu)
入力インピーダンス	MIC 1 ~ 2 端子	10k Ω以上 (バランス、HEAD AMP GAIN: 0 ~ +17dBu) 5k Ω以上 (バランス、HEAD AMP GAIN: +18 ~ +64dBu)
	LINE IN 端子	15k Ω
規定出力レベル	LINE OUT 端子	-10dBu (最大出力レベル: +8dBu)
	PHONES 端子	92mW + 92mW (32 Ω負荷時)
出カインピーダンス	LINE OUT 端子	1k Ω
	PHONES 端子	10 Ω
オーディオ・エフェクト	オート・ミキシング、エコー・キャンセラー、ハウリング・キャンセラー、EQ、ディレイ、コンプレッサー、HPF、ゲート、リバーブ リミッター、ボイス・チェンジャー	
オーディオ・プレーヤー	最大同時再生ファイル	4
	データ・フォーマット	WAV (リニア PCM、48kHz、16ビット、ステレオ / 44.1kHz、16ビット、ステレオ)

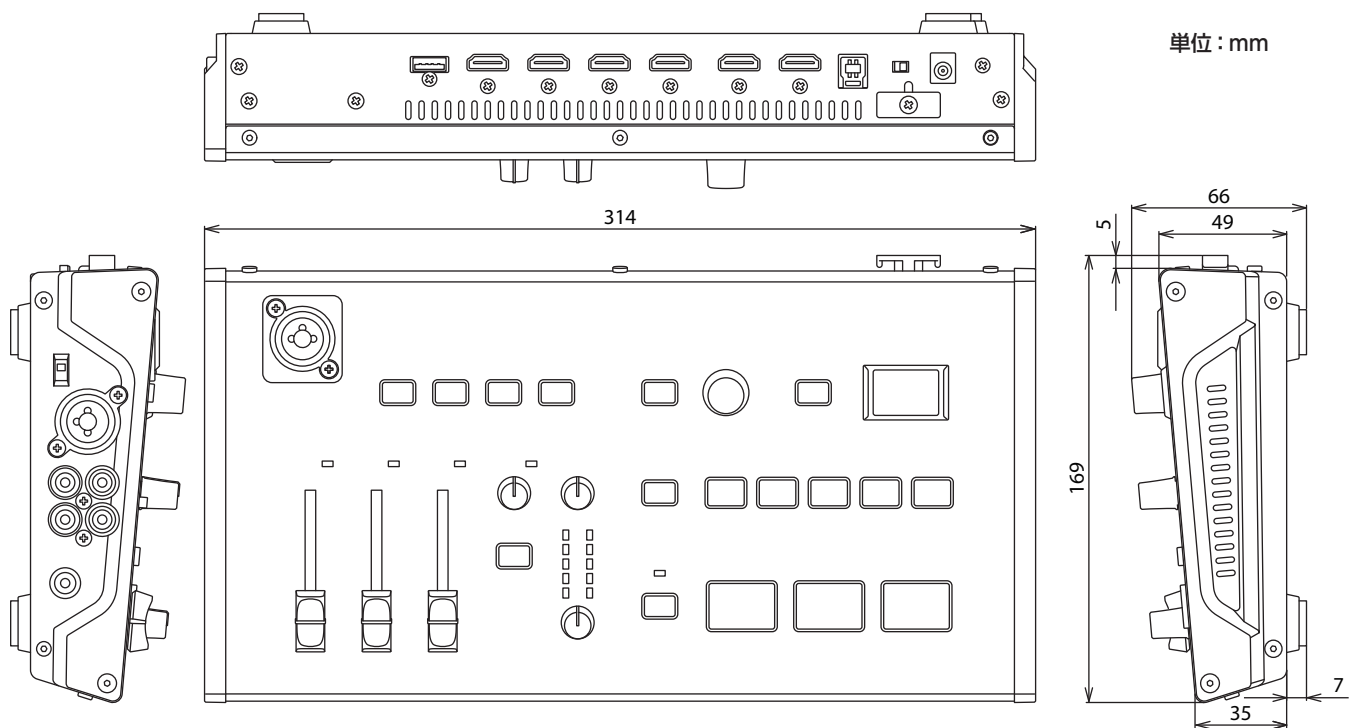
■ 共通部

接続端子	USB MEMORY 端子 (ホスト)	USB A タイプ (USB メモリー用、静止画表示、オーディオ・ファイル再生用)
	USB STREAM 端子 (デバイス)	USB B タイプ (USB-VIDEO (USB 3.0) USB-AUDIO (USB 2.0) : ステレオ 1 IN/1 OUT、パソコンからのリモート制御、アップデート用)
	DC IN 端子	
機能	シーン・メモリー : 5、パネル・ロック機能、EDID エミュレーター オート・スイッチング (オート・スキャン、ビート・シンク・スイッチング、ビデオ・フォロー・オーディオ)	
電源	AC アダプター	
消費電流	2A	
消費電力	24W	
動作温度	0 ~ +40°C	
外形寸法	314 (幅) × 169 (奥行) × 66 (高さ) mm	
質量	1.6kg (AC アダプターを除く)	
付属品	スタートアップ・ガイド、「安全上のご注意」チラシ、AC アダプター、電源コード、保証書、ローランド ユーザー登録カード	

※ 0dBu = 0.775Vrms

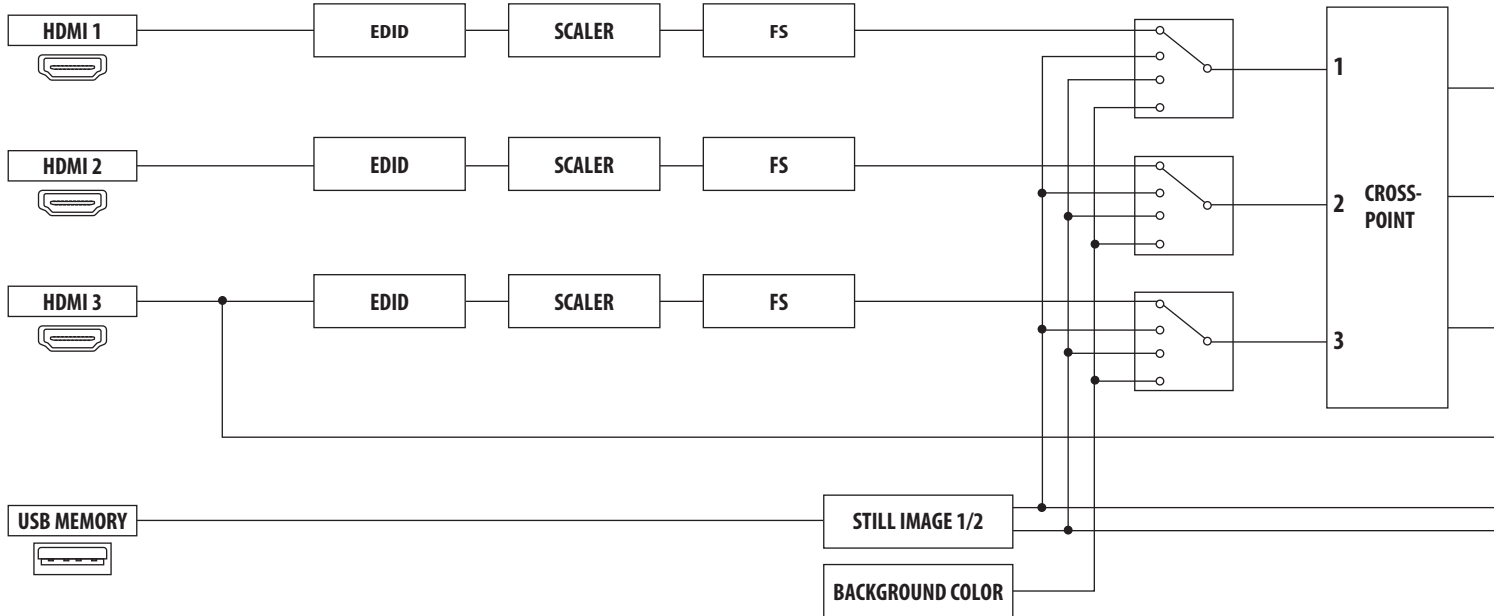
※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

外形寸法図

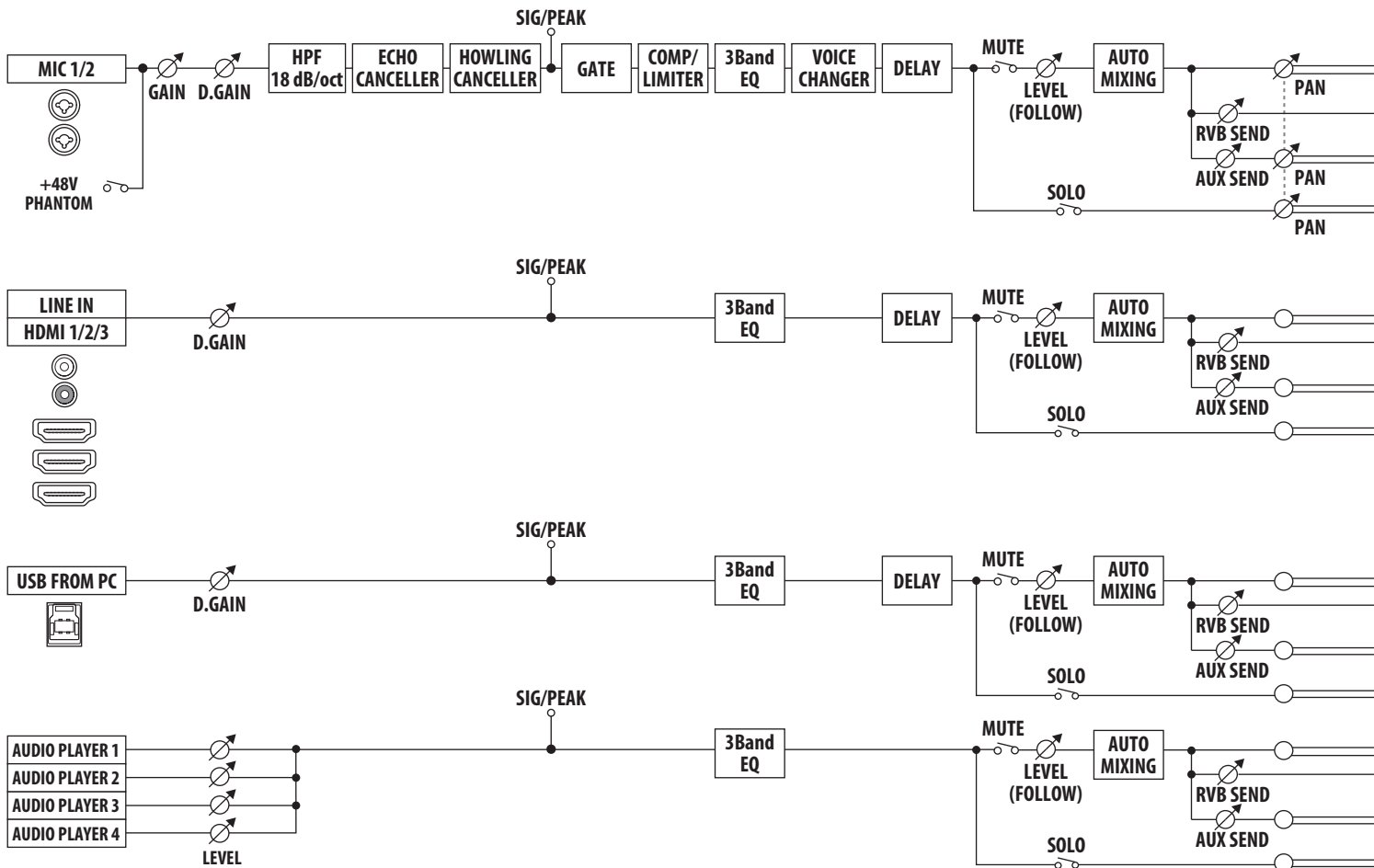


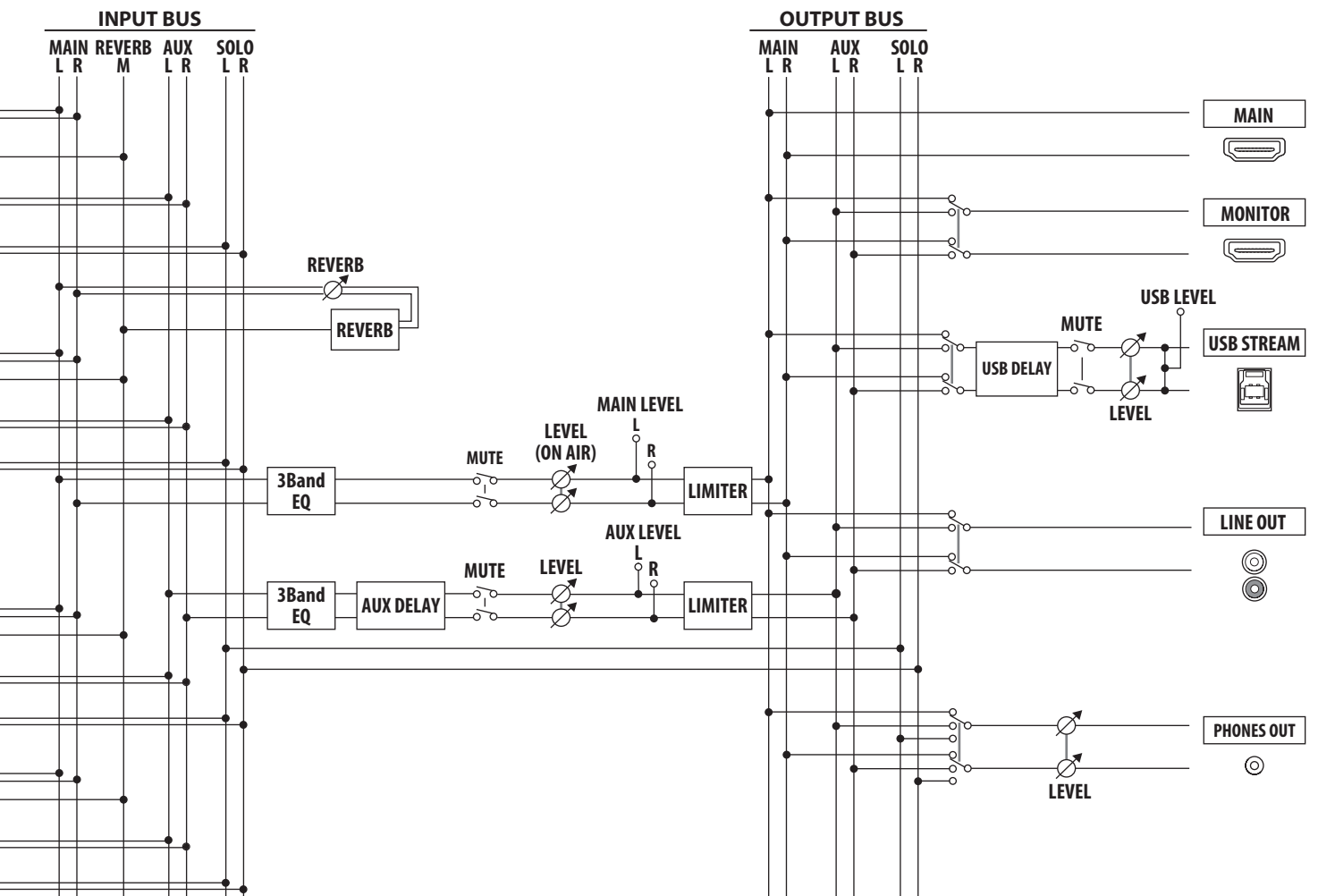
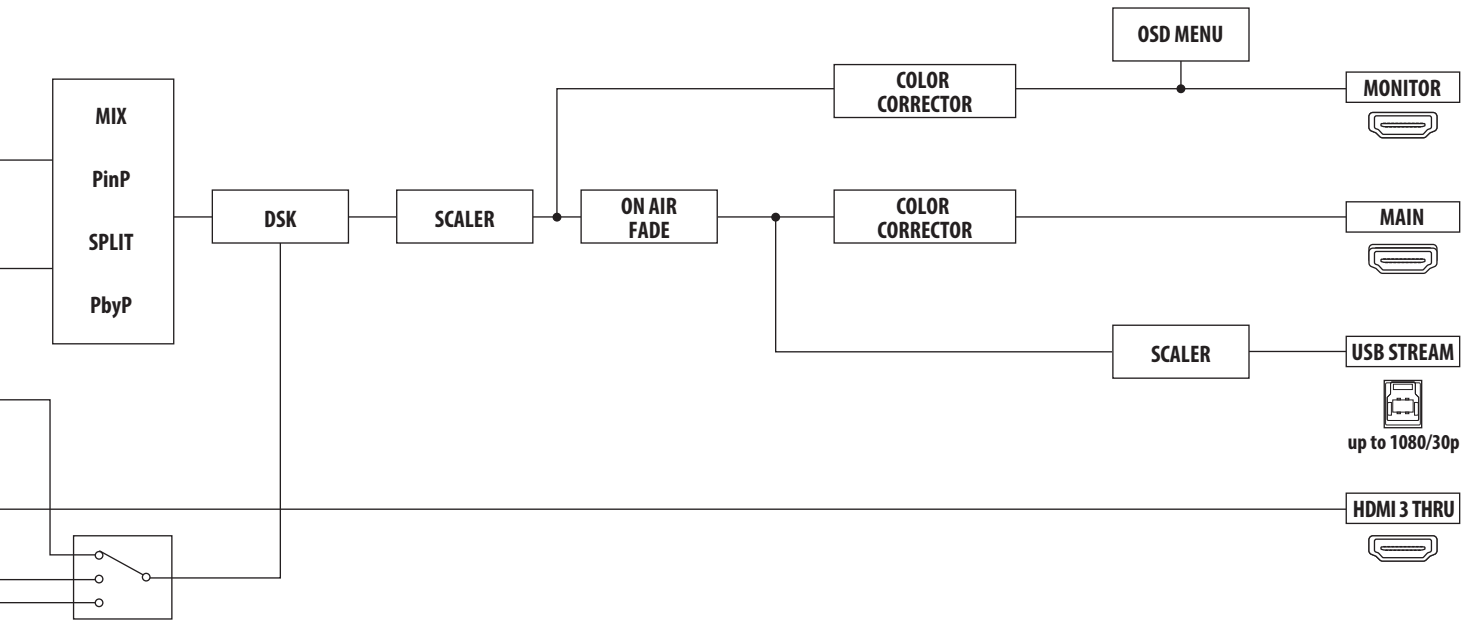
ブロック・ダイアグラム

ビデオ・セクション



オーディオ・セクション





故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、お問い合わせになる前に、以下の点をチェックしてみてください。
 チェックしても問題が解決しない場合は、お買い上げ店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。

症状	確認	対策	ページ
映像に関するトラブル			
映像が入力されない	著作権保護 (HDCP) された映像を入力していませんか？	著作権保護 (HDCP) された映像を入力する場合は、SYSTEM メニューの「HDCP」を「ON」にしてください。	P.9
パソコンから入力した動画が乱れる	パソコンから動画を入力した場合、画像にズレやちらつきが生じるなど、映像が乱れることがあります。	これはティアリングという現象で、故障ではありません。	—
映像が映らない	[ON AIR] ボタンが消灯していませんか？	[ON AIR] ボタンが消灯しているときは、メイン出力映像が黒画面にフェード・アウトします。メイン映像を出力するときは、[ON AIR] ボタンを押して、点灯させてください。	P.18
	「HDCP」を「ON」に設定していませんか？	SYSTEMメニューの「HDCP」を「ON」にすると、USB STREAM 端子から映像/音声は出力されません。	P.9
	出力先のディスプレイは、著作権保護 (HDCP) に対応していますか？	著作権保護 (HDCP) された映像を出力する場合、HDCP に非対応のディスプレイを接続すると、映像が映らなかったり、正常な映像にならなかったりします。HDCP に対応したディスプレイを接続してください。	P.9
砂嵐のような映像が表示される	HDMI 信号が正常に送受信できていない可能性があります。	HDMI ケーブルを接続し直してください。	—
色がおかしい	出力先の機器と VR-1HD のカラー・スペースの設定は合っていますか？	VIDEO OUTPUT メニュー ⇒ 「MAIN OUTPUT」、[MONITOR (MENU) OUTPUT] ⇒ 「COLOR SPACE」でカラー・スペースを変更してください。	P.8
		カラー・スペースは、機器によって、DVI/HDMI の選択やフォーマットの選択と連動している場合があります。このようなときは、出力先の機器でカラー・スペースを変更すると症状が改善されることがあります。	—
ディスプレイに表示される映像の周囲が切れて表示される	ディスプレイの設定は合っていますか？	ディスプレイによっては、自動的にオーバー・スキャンすることがあります。ディスプレイの設定を変更してください。	—
USB 3.0 でつながらない映像がカクカクする	延長ケーブルや USB ハブを使って、接続していませんか？	延長ケーブルや USB ハブを使って接続すると、パソコンが VR-1HD を認識しない場合があります。VR-1HD とパソコンは、直結することをお勧めします。	—
	—	VIDEO OUTPUT メニュー ⇒ 「USB STREAM」⇒ 「CONNECTION RESET」を実行して、パソコンと VR-1HD を再接続してみてください。	—
	VR-1HD とパソコンを USB 2.0 ケーブルで接続していませんか？	HD 映像を USB 出力する場合は、VR-1HD とパソコンを USB 3.0 ケーブルで接続してください。	—
静止画を読み込めない	VR-1HD が対応していないフォーマット/解像度の静止画ではありませんか？	対応していないフォーマット/解像度の静止画は、認識されせん。読み込み対応フォーマット/解像度を確認してください。	P.17
	静止画のファイル名を正しく付けていますか？	ファイル名が正しくない静止画は、認識されません。ファイル名は、半角英数字で 8 文字以内になしてください。また、必ず拡張子「.bmp」を付けてください。	
音声に関するトラブル			
音声が出力されない 音声が小さい	VR-1HD の音量が下がっていませんか？	各入力を適正な音量に調節してください。また、出力音量を上げてください。	P.19
	USB 出力の音量が下がっていませんか？	USB 出力の音量 (配信向けの音量) は、個別に調節することができます。[USB STREAM] つまみで、メイン出力の音量を調節してください。	P.19
	ミュート (消音) されていませんか？	入力/出力音声のミュート (消音) を解除してください。	P.24
	ソロ機能がオンになっている音声はありませんか？	ヘッドホンからはソロに設定された音声だけが聴こえます。ソロを解除してください。	P.24
	コンデンサー・マイクを接続していますか？	コンデンサー・マイクなど、ファンタム電源を必要とする機器を接続する場合は、[PHANTOM] スイッチをオンにしてください。	P.5
音楽ファイルを再生できない/ 読み込めない	音楽ファイルを保存した USB メモリーを接続していますか？	VR-1HD は、接続した USB メモリー内の音楽ファイルを直接再生します。USB メモリー内の音楽ファイルを再生するときは、USB メモリーを接続してください。	P.26
	音楽ファイルのファイル名を正しく付けていますか？	ファイル名が正しくない音楽ファイルは、認識されません。ファイル名は、半角英数字で 8 文字以内になしてください。また、必ず拡張子「.wav」を付けてください。	
その他のトラブル			
USB メモリーが使えない	VR-1HD で USB メモリーをフォーマットしていますか？	VR-1HD でフォーマットしていない USB メモリーは、認識されません。初めてお使いになるときは、必ず VR-1HD でフォーマットしてください。	P.30

ショートカット一覧

操作	メニュー名
[MENU] + AUDIO EFFECTS [1]	AUDIO EFFECTS 1
[MENU] + AUDIO EFFECTS [2]	AUDIO EFFECTS 2
[MENU] + AUDIO EFFECTS [3]	AUDIO EFFECTS 3
[MENU] + AUDIO EFFECTS [4]	AUDIO EFFECTS 4
[MENU] + [MIC 1] フェーダー	INPUT MIC 1
[MENU] + [MIC 2] フェーダー	INPUT MIC 2
[MENU] + [LINE] フェーダー	INPUT LINE
[MENU] + [USB STREAM] つまみ	AUDIO USB STREAM
[MENU] + [MAIN] つまみ	MAIN BUS
[MENU] + [KEY]	KEY
[MENU] + [ON AIR]	ON AIR
[SCENE EDIT]	SCENE
[MENU] + SCENE [A]	SCENE A
[MENU] + SCENE [B]	SCENE B
[MENU] + SCENE [C]	SCENE C
[MENU] + SCENE [D]	SCENE D
[MENU] + SCENE [E]	SCENE E
[MENU] + [AUTO SW]	AUTO SWITCHING
[MENU] + INPUT [1]	VIDEO INPUT 1
[MENU] + INPUT [2]	VIDEO INPUT 2
[MENU] + INPUT [3]	VIDEO INPUT 3



- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。